

東京都看護人材実態調査（管理者編）

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】株式会社アストジェイ（担当者：向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和2年1月17日(金曜日)までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）及び看護補助者に関するものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。

調査実施機関： 東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

● 複数免許を有する場合は、担当している業務に最も関係する資格欄に記入してください。

例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に看護業務を行っている場合 ⇒ 「看護師」欄に記入

● 雇用形態

・正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。

・非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

● 勤務形態

・常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（＝フルタイム勤務者）

ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。

・非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

● 看護補助者

下記に準じて、看護師の指示のもと業務を行つて看護補助業務を行っている者を計上してください。

【医科の診療報酬の施設基準における看護補助者】

看護師長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話（食事、清潔、排泄、入浴、移動等）のほか、病室内の環境整備、ベッドメイキング、看護用品及び消耗品の整理整頓等の業務を行っている者。他の資格を有している者で看護補助業務を行っている者も含む。

【介護報酬・診療報酬の訪問看護療養費における看護補助者】

訪問看護を担当する看護師の指導の下に、療養生活上の世話（食事、清潔、排泄、入浴、移動等）のほか、居室内の環境整備、看護用品及び消耗品の整理整頓等といった看護業務の補助を行う者。資格は問わない。秘密保持や医療安全等の観点から、当該訪問看護ステーションに雇用されている必要がある。

I 基本情報（「施設の基本情報」についてお聞きします）

問1 貴施設の正式名称を記入してください。

（例）医療法人社団〇〇病院 〇〇クリニック 〇〇訪問看護ステーション

問2 住所を記入してください。（区市町村名から）

問3 貴施設の施設種別（機能）を1つ選択してください。

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ① 病院（急性期中心） | ⑨ 訪問看護ステーション |
| ② 病院（回復期中心） | ⑩ 介護老人保健施設 |
| ③ 病院（慢性期中心） | ⑪ 介護医療院 |
| ④ 精神科病院 | ⑫ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） |
| ⑤ ①～④以外の病院 | ⑬ 有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設 |
| ⑥ 有床診療所 | ⑭ 居宅サービス事業所（⑨、⑬以外） |
| ⑦ 無床診療所 | ⑮ 看護小規模多機能型居宅介護事業所 |
| ⑧ 助産所 | |

回答

【問3で施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」の場合にお答えください。】

問4 令和元年12月1日現在の病床種別ごとの許可病床数を記入してください。

※療養病床、精神病床に指定介護療養型医療施設がある場合には、その病床数を内数で記入してください。

病床数 (床)	一般病床	療養病床		精神病床		結核病床	感染症病床	合計	
		指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)	指定介護療養型医療施設 (内数)				

【問3で施設種別が「①～⑤病院」「⑥有床診療所」「⑦無床診療所」の場合にお答えください。】

問5 令和元年11月における1日平均外来患者数を記入してください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

外来者数 人

【問3で施設種別が「⑨訪問看護ステーション」の場合にお答えください。】

問6 令和元年11月における訪問看護の利用実員数及び訪問回数合計を記入してください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

利用実員数	人
訪問回数	回
うち、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士による訪問回数	回

【問3で施設種別が「⑧助産所」で入所施設がある場合、「⑩介護老人保健施設」「⑪介護医療院」「⑫介護老人福祉施設」「⑬有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設」の場合にお答えください。】

問7 令和元年12月1日現在の入所者数及び施設入所定員を記入して下さい。

入所者数	<input type="text"/>	人
施設入所定員	<input type="text"/>	人

【問3で施設種別が「⑧助産所」「⑩介護老人保健施設」「⑫介護老人福祉施設」で通所サービスを併設している場合、及び「⑭居宅サービス事業所」「⑮看護小規模多機能型居宅介護事業所」の場合にお答えください。】

問8 令和元年11月における1日の平均利用者数は何人ですか。

また、⑭、⑮の施設の場合、看護職員の配置に関し、施設を併設しているか、または病院等協定を結んでいるかお答えください。

※「令和元年11月」は、令和元年11月1日から令和元年11月30日までのことをいいます。

利用者数		人
------	--	---

(併設又は協定施設に○を付けてください。)

- ①併設 →
- ②協定を締結 →
- ③併設・協定なし

病院・診療所・訪問看護ステーション

問9 貴施設に看護職員（管理者を含む）又は看護補助者は従事していますか。

※看護補助者について調査票冒頭の「用語の説明」を御確認下さい。

- ① 従事している。 → 問10以降へお進みください。
- ② 従事していないが、昨年まで従事していた。 → 問13以降へお進みください。
- ③ 従事していないが、今後、採用予定である。 → 問15以降へお進みください。
- ④ 従事していない。今後、採用予定もない。 → 回答終了

以上で調査は終了です。 調査票をそのまま返送してください。 ご協力ありがとうございました。

Ⅱ 就業状況等についてお聞きします

問10 令和元年12月1日現在、在籍している看護職員（休業休職者を含む）について、雇用形態ごとに勤務形態別、職種別の職員数を記入してください。

【注釈】※正規雇用、常勤等の用語について1頁目の【用語の説明】をお読みください。

● 所定労働時間について

表中①所定労働時間：施設で定めている常勤職員一人当たりの1週間の所定労働時間（記入例）40時間

表中④所定労働延時間：各短時間正規雇用職員の1週間の所定労働時間の合計

（記入例）30時間勤務の人が10人の場合 30時間×10人＝300時間

表中⑨所定労働延時間：各非常勤職員の1週間の所定労働時間の合計

（記入例）16時間勤務の人が45人、22時間勤務の人が5人の場合 16時間×45人+22時間×5人＝830時間

● 常勤換算について

・フルタイム職員の常勤換算数 = 実員数

・短時間正規雇用職員の常勤換算数 ④÷①（記入例）300÷40（時間）＝7.5人（小数点以下第2位を四捨五入）

・非常勤職員の常勤換算数 ⑨÷①（記入例）830÷40（時間）＝20.8（小数点以下第2位を四捨五入）

・就業者合計（常勤換算数） ⑥（正規雇用）+⑪（非正規雇用）（記入例）15.5人+22.8人＝38.3人

（単位：人）

	①所定労働時間 (1週当たり)	正規雇用				⑥合計 (常勤換算数) ②+⑤
		常勤(フルタイム)	短時間正規雇用		⑤常勤換算数 ④÷①	
		②実員数	③実員数	④所定労働延時間		
(記入例)	40時間	8人	10人	300時間	7.5人	15.5人
保健師	時間	人	人	時間	人	人
助産師		人	人	時間	人	人
看護師		人	人	時間	人	人
准看護師		人	人	時間	人	人
合計		人	人		人	人

	①所定労働時間 (1週当たり)	非正規雇用				⑪合計 (常勤換算数) ⑦+⑩
		常勤(フルタイム)	非常勤		⑩常勤換算数 ⑨÷①	
		⑦実員数 = 常勤換算数	⑧実員数	⑨所定労働延時間		
(記入例)	40時間	2人	50人	830時間	20.8人	22.8人
保健師	時間		人	時間	人	人
助産師			人	時間	人	人
看護師			人	時間	人	人
准看護師			人	時間	人	人
合計				人		人

	就業者合計	
	⑫実員数 ②+③+⑦+⑧	⑬常勤換算数 ⑥+⑪
		70人
保健師	人	人
助産師	人	人
看護師	人	人
准看護師	人	人
合計	人	人

問 11 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している看護職員数（休業退職者を含む）について、勤務形態別・年齢区分別ごとに記入してください。雇用形態は問いません。

（単位：人）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
常勤 (フルタイム)													
非常勤													

※合計は、問 10 の就業者合計（常勤及び非常勤）の⑫実人員数の計と一致します。

問 12 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している外国人職員について勤務形態別にお答えください。

	常勤(フルタイム)	非常勤
外国人看護職員	人	人
外国人看護師候補生(EPA)	人	人

問 13 6 年後の令和 7（2025）年 12 月 1 日現在の看護職員数は令和元年 12 月 1 日現在の実人数と比べてどうなる見込みですか。

- ① 増えている → 問 13-1 へ
- ② 減っている → 問 13-1 へ
- ③ 変わらない → 問 14 へ
- ④ わからない → 問 14 へ

回 答

問 13-1 令和 7 年までの需要人員の主たる増減理由を 1 つ選択してください。

※⑦の場合はシフト先を、⑧その他の場合は理由を（ ）に記入してください。

- ① 施設基準（看護職員基準）の変更
- ② 病床数・定員数等の変更
- ③ 新たなサービスの展開、サービスの強化・充実
- ④ サービスの見直し、縮小・廃止
- ⑤ 勤務環境（ライフワークバランスに関する制度）の充実、見直し
- ⑥ 患者や利用者の実態に応じた職員の増減
- ⑦ タスクシフトの推進による ⇒ シフト先（ ）
- ⑧ その他（具体的に： ）

回 答

問 14 正規雇用職員の平成 30 年度の年度初めの在籍状況、採用・退職状況をお答えください。

- 正規雇用については 1 頁目の【用語の説明】をお読みください。
- 「新卒者」とは、免許取得後 1 年未満の者をいいます。
- 「経験者新規採用」には定年退職後（自施設の）の再雇用者、同法人内の異動者は含みません。

(単位：人)

平成30年度	正規雇用看護職員
(1) 年度始め(平成30年4月1日現在)の正規雇用看護職員数 (注1)法人内異動者、休業者は含む (注2)平成30年4月1日付新規採用者(新卒・経験者)は除く	
(2) 平成30年4月1日～平成31年3月31日までの新卒採用者数	
うち、年度末までに退職した新卒採用者数	
(3) 平成30年4月1日～平成31年3月31日までの経験者採用者数	
うち、年度末までに退職した経験者採用者数	
(4) 平成30年4月1日～平成31年3月31日の総退職者数	

人数一致

問 15 平成 30 年度の正規雇用看護職員の退職者の主たる理由について、わかっている範囲で人数をお答えください。

平成30年度 退職者総数		人	
(内訳) 退職理由	① 定年退職	人	
	定年退職以外	② 出産・育児・介護等家庭の事情	人
		③ 転居に伴う通勤困難による	人
		④ 本人の体調不良、傷病等による	人
		⑤ 職場の原因(労働条件・労働環境・人間関係等の理由)	人
		⑥ 進学	人
		⑦ 他施設への転職	人
		⑧ 看護職以外への転職	人
		⑨ 施設側の働きかけによる(解雇、希望退職の募集、退職勧奨)	人
		⑩ 結婚し、経済的に働く必要がなくなったことによる	人
		⑪ その他(具体的に:)	人
		⑫ 不明	人
		小計	人

人数一致

問 15-1 平成 30 年度の正規雇用看護職員の退職者（定年退職者を除く）について貴施設における勤務年数別に記入してください。

勤続年数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合計
正規雇用看護職員								

Ⅲ 採用・確保の状況について

問 16 平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の看護職員の採用状況（人数）について、お答えください。雇用形態（正規・非正規）は問いません。職種別、経験別、勤務形態別に記入してください。

（単位：人）

平成30年度		保健師	助産師	看護師	准看護師	合計
① 新卒者 新規採用	常勤					
	非常勤					
② 経験者 新規採用	常勤					
	非常勤					
③ 定年後 再雇用	常勤					
	非常勤					

※「新卒者」とは、免許取得後1年未満の者をいいます。

問 16-1 問 16 の採用者について、年齢区分ごとに人数を記入してください。

① 新卒者 新規採用

（単位：人）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	合計
常勤													
非常勤													

② 経験者 新規採用

（単位：人）

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	合計
常勤													
非常勤													

問 16-2 平成 30 年度中の経験者採用者の未就業期間について、期間別に人数を記入してください。転職者（前職場を辞める前に就職が内定していた者）についてわかる範囲で人数を記入してください。

(単位:人)

未就業期間	経験者採用者数	(内訳)転職者
0~1か月未満	人	人
1か月以上~1年未満	人	人
1~2年未満	人	
2~3年未満	人	
3~5年未満	人	
5年以上	人	
不明	人	

問 17 看護職員採用の考え方として、次の項目（1）から（3）の各対象者の中で採用したい優先順位を付けてください。

※「新卒者」とは、免許取得後1年未満の者をいいます。

(1)

項目	順位
① 新卒者（社会人経験あり）	
② 新卒者（社会人経験なし）	
③ 看護職経験者（育児・介護中の転職者で短時間勤務希望）	
④ 看護職経験者（ブランクのある再就業者でフルタイム希望）	
⑤ 定年退職後の再就業者（フルタイム希望者）	
⑥ 定年退職後の再就業者（短時間勤務希望者）	

(2)

項目	順位
① 看護職経験者（ラダーⅠ～Ⅱ）	
② 看護職経験者（ラダーⅢ以上）	
③ 認定看護師・専門看護師・アドバンス助産師	
④ 特定行為研修修了者	

(※ラダーレベルは JNA ラダーを参照してください。)

(3)

項目	順位
① 看護系大学院卒業	
② 看護系大学卒業	
③ 看護師等養成所卒業	
④ 准看護師等養成所・高等学校卒業	
⑤ 学歴、卒業施設による区別なし	

※①～③は、いずれも看護師免許を所持している職員として考えてください。

問 18 新卒者の採用・確保について、効果をあげていると感じる取組すべてについて回答欄に○を付けてください。

選 択 項 目	回 答
① 求人誌・求人広告	
② ホームページ・SNS の活用	
③ 合同就職説明会への参加	
④ いつでも見学、相談が可能としている	
⑤ インターンシップの実施	
⑥ 積極的に看護学生の実習を受け入れる	
⑦ 養成施設・教育機関へのリクルート	
⑧ 有料職業紹介事業者の利用	
⑨ ナースバンク（無料職業紹介）の利用	
⑩ 看護職員の口コミ	
⑪ EPA の積極的な受け入れ	
⑫ 独自の返還免除規定のある貸付金（奨学金）の実施	
⑬ 東京都修学資金の返還免除対象施設（指定施設）であること	
⑭ 入職後の新人研修等教育サポート体制	
⑮ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援	
⑯ ライフステージに応じた多様な勤務形態の導入	
⑰ 休暇・福利厚生制度の充実	
⑱ 寮・借り上げ住宅の提供	
⑲ 育児・介護への支援体制	
⑳ 院内保育所の整備	
㉑ その他（具体的に： _____ ）	

→問 18-1 へ

問 18-1 問 18 で⑫の独自の返還免除規定のある貸付金（奨学金）を実施されている場合、金額等について、お答えください。

(1) 貸付金額 月額 円
 年額 円

(2) 返還免除となるための就業義務期間 年

問 18-2 転職者・再就業者の採用・確保について、効果をあげていると感じる取組すべてについて回答欄に○を付けてください。

選 択 項 目	回 答
① ナースバンク（無料職業紹介所）の利用	
② ハローワーク（職業安定所）の利用	
③ 有料職業紹介事業者の利用	
④ 新聞の折り込み広告	
⑤ 駅などでの求人広告の掲示	
⑥ 就職相談会への参加	
⑦ ホームページ・SNS の活用	
⑧ 自施設の退職者を勧誘	
⑨ 看護職員の口コミ	
⑩ いつでも見学、相談ができるようにしている	
⑪ 東京都ナースプラザの「復職支援研修」への協力	
⑫ 教育機関・養成所からの紹介	
⑬ 入職後の研修フォロー体制	
⑭ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援	
⑮ ライフステージに応じた多様な勤務形態の導入	
⑯ 休暇・福利厚生制度の充実	
⑰ 寮・借り上げ住宅の提供	
⑱ 育児・介護への支援体制	
⑲ 院内保育所の整備	
⑳ その他（具体的に： _____）	

問 19 平成 29 年度～令和元年度（4 月～9 月末）の募集ツールの利用及び採用状況と令和元年 12 月 1 日現在の在籍状況についてお答えください。

（単位：人）

	利用の有無	勤務形態	平成29年度		平成30年度		令和元年度(4月～9月末)	
			採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数	採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数	採用人数	うち令和元年12月1日現在 在籍者数
無料職業紹介 (ナースバンク)	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						
無料職業紹介 (ハローワーク)	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						
有料職業紹介	① 有	常勤						
	② 無	非常勤						

問 19 で【有料職業紹介事業者を利用している場合にお答えください。】

問 19-1 有料職業紹介事業者を利用する理由として当てはまるものすべてについて回答欄に○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① 人材確保が困難なためやむを得ず	
② 対応が丁寧	
③ 安心できる	
④ すぐに求職者が紹介される	
⑤ 適任者が紹介される	
⑥ 採用までの施設側の手間が少ない	
⑦ 採用後の紹介者へのフォローが手厚い	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問 19-2 事業者への年間支払金額の総額は、おおよそどれくらいですか。（平成 30 年度）

円

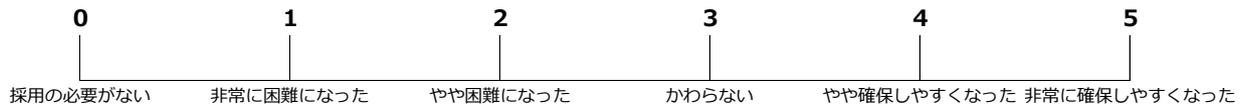
問 19 で【ナースバンクを利用していない場合にお答えください。】

問 19-3 無料のナースバンクを利用しない理由として当てはまるものすべてについて回答欄に○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① 求人登録が複雑	
② 採用までの施設側の手間が多い	
③ 登録しても求職者が紹介されない	
④ 適任者が紹介されない	
⑤ 採用後の紹介者へのフォローがない	
⑥ 所在地が不便（西新宿、立川）	
⑦ ナースバンクをよく知らない	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問 20 職員の確保について1年前と比較してどう感じているかを5段階評価でお答えください。
 あてはまる回答の数値に○をつけてください。

① 看護職員



② 看護職員のうち夜勤可能な職員



問 21 正規雇用看護職員(常勤)の退職について、定年を定めていますか。
 定めている場合は、年齢を記入してください。

① 定年を定めている 歳 (→問 21-1へ)

② 定年を定めていない (→問 22へ)

回 答

【問 21 で「①定年を定めている」と回答した方はお答えください。】

問 21-1 定年退職者を改めて雇用する制度はありますか。ある場合は、就業できる上限年齢を記入してください。

① ある 歳 (→問 21-2へ)

② ない (→問 22へ)

回 答

【問 21-1 で「①ある(定年退職者を雇用する制度が)」と回答した方は問 21-2～問 21-7にお答えください。】

問 21-2 定年前と比較して定年退職後の給与に差がありますか。

① 定年前と同等

② 定年前より減額 ⇒ 割減

回 答

IV 定着について

現在の職員の勤務状況についてお聞きします

問 22 看護職員の勤務形態についてお答えください。

- ・雇用形態別に当てはまる勤務形態すべてに○をつけてください。
- ・夜間勤務の必要がない施設は夜勤専従欄に×をつけてください。

(単位 人)

勤務形態	看護職員	
	正規雇用	非正規雇用
① フルタイム勤務		
② 短時間勤務(1日の所定労働時間を5時間45分～6時間)		
③ フレックスタイム制度		
④ 早出・遅出勤務		
⑤ 夜勤専従		

問 23 就業規則で定められた正規看護職員(常勤)の所定の年次有給休暇の日数と平成 30 年度の取得率について記入してください。

① 所定有給休暇日数(年間) 日

② 平成 30 年度取得率 %

※取得率=取得日数/各人の付与日数(前年度からの繰越分を含まない)×100

問 24 正規看護職員(常勤)の超過勤務時間について、1人あたりの平成 30 年度の月平均時間をご記入ください。どなたも超過勤務をされなかった場合は「0」をご記入ください

月平均 1人あたり 時間(小数点第1位まで)

定着対策についてお聞きします

問 25 看護職員の定着のための取組みについてお答えください。

(1) 選択項目の中で貴施設で実施している取組みについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

(2) (1)で選んだ取組の中で効果を上げているものを3つまで選択してください。

(3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 面談や定期ミーティングの開催			
② 研修等教育機会の充実			
③ キャリアアップの支援			
④ 良好な人間関係、職場づくりの推進			
⑤ 理念を共有した看護の実践への取組み			
⑥ 給与、各種手当等の充実			
⑦ 福利厚生 of 充実			
⑧ 多様な勤務形態の導入			
⑨ 休暇の取得促進			
⑩ 電子カルテ等 ICT の活用による業務軽減			
⑪ 他専門職種との業務分担			
⑫ 看護補助者へのタスクシフティング			
⑬ 超勤を減らす取組み			
⑭ 夜勤の負担を減らす取組み			
⑮ 寮、借り上げ住宅の提供			
⑯ 育児・介護支援			
⑰ 休憩室・ナースステーション等の施設設備			
⑱ 専門家による職員のメンタルヘルスケア			
⑲ その他(具体的に)			

問 26 育児・介護中の看護職員の働きやすさ向上のために貴施設で実施している支援制度について支援についてお答えください。

(1) 選択項目の中で貴施設で実施している支援制度について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

(2) (1)で選んだ支援の中で効果を上げているものを3つまで選び、番号を記入してください。

(3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取り組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 育児に伴う短時間勤務制度			
② 育児に伴う夜勤免除制度			
③ 院内保育（昼間）			
④ 院内保育（夜間）			
⑤ 病児・病後児保育			
⑥ 保育サービス利用料の補助			
⑦ 育児休職あけの復職時研修の実施			
⑧ 介護に伴う短時間勤務制度			
⑨ 介護に伴う夜勤免除制度			
⑩ 介護サービス利用料の補助			
⑪ フレックスタイム制			
⑫ 半日、時間単位の休暇制度			
⑬ 家族で入居可能な住宅の提供			
⑭ その他（具体的に)			

問 27 夜勤の看護職員の業務負担軽減のための取組についてお答えください。

(1) 選択項目の中で貴施設で実施している取組についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

(2) (1)で選んだ取組の中で効果を上げているものを3つまで選択してください。

(3) 選択項目の中で今後実施したい、又はさらに重点的に取り組みたいものを3つまで選び、番号を記入してください。

選 択 項 目	(1) 実施して いるもの (すべて)	(2) 効果を上げ ているもの (3つまで)	(3) 今後又は さらに実施 したいもの (3つまで)
① 看護補助者の増員			
② 早出や遅出の看護補助者の配置			
③ 夜勤時間帯の看護補助者の配置			
④ 夜勤時間帯の病棟クランクの配置			
⑤ 夜勤時間帯の他医療専門職種との業務分担			
⑥ 看護職員の増員			
⑦ 短時間勤務の看護職員の増員			
⑧ 夜勤専従者の雇用			
⑨ 夜勤時間帯の看護職員配置の増員			
⑩ 月の夜勤回数の上限の設定			
⑪ 夜勤後の「暦日の休日」(※)の確保 ※0時から始まる24時間を1日と考えての休日			
⑫ 夜勤の連続回数が2連続(2回まで)の設定			
⑬ 11時間以上の勤務間隔の確保			
⑭ 電子カルテ活用等ICTの推進			
⑮ 仮眠室、シャワー室等完備			
⑯ 寮、借り上げ住宅の提供			
⑰ その他(具体的に：)			

「人材育成」についてお聞きします

問 28 貴施設の研修・教育体制、進学の実支援体制について当てはまるものすべてを選択し○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① 施設内に看護職員の教育・研修を専門に担当する部署がある。または教育・研修専従の担当者がある。	
② 施設内各部署の教育担当者によって構成される教育委員会が設置されている。	
③ キャリアラダー等を導入し、これに基づき研修計画を作成している。	
④ 施設内・施設外ともに研修計画を作成し、実施又は派遣している。	(問28-1へ)
⑤ 施設内のみ研修計画を作成し、実施している。	(問28-1へ)
⑥ 施設外の派遣研修計画のみ作成し、派遣している。	(問28-2へ)
⑦ 施設内研修の実施、派遣も行っていない。	(問28-3へ)
⑧ 准看護師に対する看護師資格取得の支援がある。	
⑨ 看護職員が大学院等に進学するための支援体制がある。	

※施設内研修には法人内合同研修も含まれます。また、OJT研修は含みません。

問 28 で④⑤「施設内・施設外ともにまたは施設内のみ施設の研修計画を作成している。」を選択した施設にお聞きします。

問 28-1 (1) 自施設又はグループ内で実施している研修をすべて選択し、○をつけてください。また、今後、新たに実施したい研修をすべて選択し、○をつけてください。

研修項目	実施している	今後実施したい
① 新人看護職員研修		
② 2・3年目看護職員研修		
③ 経験者看護職員の入職時研修		
④ 中堅看護職員研修		
⑤ ベテラン看護職員研修		
⑥ その他 (具体的に:)		

問 28-1 (2) 現在、施設外に派遣している研修、または、今後派遣させたい研修をすべて選択し、○をつけてください。

研修項目	派遣している	今後派遣したい
① 新人看護職員研修		
② 2・3年目看護職員研修		
③ 経験者看護職員の入職時研修		
④ 中堅看護職員研修		
⑤ ベテラン看護職員研修		
⑥ その他（具体的に： ）		

問 28 で⑥「施設外のみ派遣計画を作成している」を選択した施設にお聞きします。

問 28-2 現在、施設外に派遣している研修をすべて選択し、○をつけてください。
また、今後新たに派遣したい研修と、今後自施設で実施したい研修をすべて選択し、○をつけてください。

研修項目	派遣している	今後派遣したい	今後自施設で実施したい
① 新人看護職員研修			
② 2・3年目看護職員研修			
③ 経験者看護職員の入職時研修			
④ 中堅看護職員研修			
⑤ ベテラン看護職員研修			
⑥ その他（具体的に： ）			

問 28 で⑦「施設内研修の実施、施設外研修への派遣も行っていない。」を選択した施設にお聞きします。

問 28-3 （1）自施設で実施されていない理由について当てはまるものを3つまで選択してください。

- ① 教育に携わる人材や人員が確保できないため
- ② 研修を実施する設備や場所が確保できないため
- ③ 業務多忙により研修時間確保が困難なため
- ④ 看護教育を企画・実施・評価する組織（委員会）が設置されていないため
- ⑤ 予算確保が困難なため
- ⑥ 必要性を感じないため
- ⑦ 看護職員からのニーズがないため
- ⑧ その他（具体的に： ）

回答		

問 28-3 （2）施設外の研修に派遣していない理由について当てはまるものを2つまで選択してください。

- ① 時間確保が困難なため
- ② 予算確保が困難なため
- ③ 主な会場までのアクセスが悪いため
- ④ 必要性を感じないため
- ⑤ 看護職員からのニーズがないため

回答	

⑥ その他（具体的に： ）

問 28-3（3）今後、自施設での実施又は派遣を検討したい研修を2つまで選択してください。

- ① 新人看護職員研修 ④ 中堅看護職員研修
 ② 2・3年目看護職員研修 ⑤ ベテラン看護職員研修
 ③ 経験者看護職員の入職時研修 ⑥ その他（具体的に： ）

回答	

問 29 令和元年12月1日現在の専門看護師等の配置状況と令和7（2025）年度の配置計画をお答えください。

※配置している人がいない場合は0を記入してください。

（単位：人）

	令和元年 12月1日現在	令和7年(2025年) 12月1日
① 専門看護師		
② 認定看護師		
③ 認定看護管理者		
④ アドバンス助産師		

問 30 令和元年12月1日現在の貴施設の特定行為研修修了者数(実人数)とその区分(述べ人数)をお答えください。

※修了者や受講中の者がいない場合はゼロを記入してください。

（単位：実人数）

修了者	人
受講中の者	人

（単位：延べ人数）

特定行為区分の名称	修了者数 (現在受講中を含む)
① 呼吸器（気道確保に係るもの）	人
② 呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）	人
③ 呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）	人
④ 循環器	人
⑤ 心嚢ドレーン管理	人
⑥ 胸腔ドレーン管理	人
⑦ 腹腔ドレーン管理	人
⑧ ろう孔管理	人
⑨ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）	人
⑩ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）	人
⑪ 創傷管理	人
⑫ 創部ドレーン管理	人
⑬ 動脈血液ガス分析	人
⑭ 透析管理	人
⑮ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与	人
⑯ 感染に係る薬剤投与	人
⑰ 血糖コントロールに係る薬剤投与	人
⑱ 術後疼痛管理	人
⑲ 循環動態に係る薬剤投与	人
⑳ 精神及び神経症状に係る薬剤投与	人
㉑ 皮膚損傷に係る薬剤投与	人

問 30-1 特定行為研修修了者は貴施設で特定行為を実施していますか。

①はい ⇒ 実施している人数（実人数）を記入してください。 人

②いいえ ⇒ 実施していない理由をご記入ください。

--

回答

問 31 2020年4月から新たに特定行為のパッケージ研修（外科術後管理領域、術中麻酔管理領域、在宅・慢性領域、救急領域）が開始されます。区分別特定行為研修、パッケージ化特定行為研修を受講させる予定はありますか。

- | | | |
|--|---|------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 区分別特定行為研修受講させる ② パッケージ化特定行為研修を受講させる ③ 区分別とパッケージ化の両方の特定行為研修を受講させる ④ どちらも受講させる予定はない | } | (→問 31-1へ) |
|--|---|------------|

回答

問 31-1 問 31 で①～③(受講させる)を選択された場合、下記に予定と分野をお答えください。

	2025年までの 修了予定者数※	区分又は領域	回 答(複数可)
(1) 区分別特定行為研修	人	問30の区分名称の番号を 回答欄に記入してください。	
(2) パッケージ化特定行為研修	人	① 外科術後管理領域 ② 術中麻酔管理領域、 ③ 在宅・慢性領域 ④ 救急領域 から選択してください。	

※今年度までの修了者及び修了予定者を含む。

問 31-2 問 31 で受講させる予定がある場合、受講への支援体制について、それぞれ当てはまるものを選択してください。

(1) 研修費用負担

- ① 全額施設負担 ② 一部施設負担 ③ 本人負担

回答

(2) 勤務要件

- ① 勤務しながら受講
② 受講中は休職扱い（有給）
③ 受講中は休職扱い（無給）

回答

(3) 代替要員

- ① 自施設の職員で対応 ② 代替職員を別に雇用

回答

問 31-3 問 31 で受講させる予定がない場合、その理由についてもっとも当てはまるものを選択してください。

- ① 必要がない ④ 研修費用の負担ができない
② 組織でまだ検討していない ⑤ 受講希望者がいない
③ 研修受講の際の人的確保ができない ⑥ その他
(具体的に：)

回答

V 届出制度・都の支援について

問 32 平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりました。

貴施設の退職する職員に対して「東京都ナースプラザ」に届け出るよう周知していますか。

- ① している
② していない

回答

問 32-1 代行制度による届出を行っていますか。もっとも当てはまるものを選択してください。

- ① 積極的に行っている
② あまり積極的におこなっていない
③ 知っているが全く行っていない
④ 知らなかった
⑤ その他 ()

回答

問 32-2 東京都ナースプラザでは、看護職の無料職業紹介所であるナースバンクを設置し、看護職に対する復職に向けた研修、就業相談・あっせん等を行い、再就業を支援しています。貴施設の退職する職員に対して、ナースバンクの情報を提供していますか。

- ① 情報を提供している
② 情報を提供していない

回答

問 33 看護職員の確保・育成・定着に向けて期待する都の支援について支援を期待するもの上位 10 個まで選択し、回答欄に番号を記入してください。

助 言 相 談 等	① 教育体制・研修に関する助言・相談
	② 業務改善好事例の紹介等の助言・相談
	③ 職員募集・広報に関する助言・相談
	④ 働きやすい職場づくりに関する助言・相談
	⑤ 労務管理等に関し電話等で相談できる窓口
	⑥ ハラスメントに対する助言・相談
研 修 ・ 資 格 取 得 支 援	⑦ 新人看護職員の研修に対する支援
	⑧ 中堅看護職員の研修に対する支援
	⑨ ベテラン看護職員の研修に対する支援
	⑩ 看護管理者向けの研修
	⑪ 看護補助者の養成・育成のための支援
	⑫ 離職中の看護職が復職する際の研修に対する支援
	⑬ 専門資格取得のための支援
	⑭ 特定行為研修受講のための支援
	⑮ 准看護師に対する看護師資格取得のための支援
そ の 他	⑯ 多様な勤務形態の導入への取組に対する支援口
	⑰ 院内保育・病児保育の支援
	⑱ 職員の住宅確保のための支援
	⑲ 施設間の人材交流のための支援
	⑳ 看護師の特定行為に係る指定研修機関への支援
	㉑ その他(具体的に)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
回答										

VI 看護補助者を雇用されている施設にお聞きします

問 34 令和元年 12 月 1 日現在、在籍している看護補助者（休業退職者を含む）について、勤務形態別の実人数、常勤換算数、年齢区分別人数を記入してください。

(単位：人)

	実人員					常勤換算数
	常勤		非常勤			
看護補助者	うち、外国人	うち、看護学生				
			うち、外国人	うち、看護学生		

※常勤換算については、問 10 の注釈を参考にしてください。

(単位：人)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計
常勤													
非常勤													

問 34-1 貴施設で実施している看護補助者の勤務形態について当てはまるものすべてに○をつけてください。

※夜間勤務の必要がない施設は夜勤専従欄に×をつけてください。

勤務形態	看護補助者		
	正規雇用	非正規雇用	
		うち派遣	
① フルタイム勤務			
② 短時間勤務(1日の所定労働時間を5時間45分～6時間)			
③ フレックスタイム制度			
④ 早出・遅出勤務			
⑤ 夜勤専従			

問 34-2 看護補助者の主な配属先について実人数及び常勤換算数を記入してください。

※常勤換算については、問 10 の注釈を参考にしてください。

主な配置部署		実人数	常勤換算数
病院等	① 病棟(看護補助加算、急性期看護補助体制、看護補助者配置加算対象)	人	人
	② 病棟(看護補助加算等無し)	人	人
	③ 外来部門	人	人
	④ 検査部門	人	人
	⑤ 中央材料室	人	人
	⑥ 手術室	人	人
	⑦ ICU・CCU・SCU・NICU	人	人
	⑧ その他の部署(具体的に:)	人	人
	⑨ 主な配属を定めていない	人	人
訪問看護ステーション	⑩ 複数名訪問看護加算に利用	人	人

問 35 貴施設において看護補助者の業務として、実施しているものと今後活用したい業務をすべて選択し、○を付けてください。

業務内容		実施しているもの	今後活用したいもの
<p>周辺業務 (対象者に接しない業務)</p>	生活環境に関わる業務	① 病床及び病床周辺の清掃・整頓	
		② 病室環境(温度、湿度、採光、換気など)の調整	
		③ シーツ交換やベッドメイキング (退院後や空床、離床可能な人)	
		④ リネン類の管理	
		⑤ その他(具体的に:)	
	診療に関わる周辺業務	⑥ 処置・検査等の伝票類の準備、整備	
		⑦ 診療に必要な書類の整備・補充	
		⑧ 診察に必要な器械・器具等の準備、片付け	
		⑨ 診療材料の補充・整理	
		⑩ 入退院・転出入に関する業務	
		⑪ その他(具体的に:)	
<p>直接ケア (「対象者の状態像」、「看護補助者が業務を実施する状況」によって、看護補助者が実施可能かどうかは異なる)</p>	日常生活に関わる業務	⑫ 食事に関する業務	
		⑬ 身体の清潔に関する業務	
		⑭ 排泄に関する業務	
		⑮ 安全安楽に関する業務(罨法、体位交換、見守りなど)	
		⑯ 移動・移送に関する業務	
		⑰ その他(具体的に:)	

問 36 平成 30 年度の看護補助者の採用状況（実人数）について、勤務形態別、経験別に記入してください。

(単位：人)

看護補助者	募集人数	採用人数	うち看護補助経験者数
常勤			
非常勤			

問 36-1 平成 30 年度の看護補助者の採用状況（実人数）について、年齢別に記入してください。

(単位：人)

	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	合計
常勤													
非常勤													

問 36-2 看護補助者の採用に際し、利用しているもの全てに○をつけてください。

選 択 項 目	回 答
① ホームページ、口コミ等による自己採用	
② 無料のハローワーク（職業安定所）	
③ 有料職業紹介事業者	
④ 派遣会社	
⑤ その他（具体的に： _____）	

問 37 看護補助者の確保について1年前と比較してどう感じているかを5段階評価でお答えください。

1	2	3	4	5	回 答
非常に困難になった	やや困難になった	かわらない	やや確保しやすくなった	非常に確保しやすくなった	

問 38 看護補助者の研修について当てはまるもの（複数回答可）を選択してください。

- ① 自施設で研修計画をたて、看護補助者の経験段階に応じた研修を実施している。
- ② 自施設で定期的に年1回研修を実施している。
- ③ 自施設で採用時のみ研修を行っている。
- ④ 外部で実施している研修に派遣している。
- ⑤ 看護職員と一緒に実務をしながら業務を学ばせているが、研修は行っていない。派遣もしていない。（→問38-1へ）
- ⑥ その他（具体的に： _____）

回 答

問 38-1 問 38 で⑤「研修は行っていない。派遣もしていない。」を選択した施設にその理由について当てはまるものを3つまで選択してください。

選 択 項 目	回 答 (3つまで)
① 教育に携わる人材や人員が確保できないため	
② 研修を実施する設備や場所が確保できないため	
③ 業務多忙により研修時間の確保が困難なため	
④ 研修内容の企画が困難なため	
⑤ 予算確保が困難なため	
⑥ 必要性を感じないため	
⑦ 施設外で適当な研修が実施されていないため	

⑧ その他（具体的に： _____ ） _____

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

※調査内容に齟齬等がある場合にお問合せさせていただくことがありますので、
差し支えなければご連絡先をご記入ください。

【ご担当者】 所属部署：

氏 名：

連 絡 先：

令和元年度実施

東京都看護人材実態調査

(従事者：看護職員編)

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】 株式会社アストジェイ (担当者：向江 白石)

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和2年1月17日(金曜日)までに投函してください。(切手は不要です。)

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)及び看護補助者に対して行うものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべて回答の対象です。

調査実施機関： 東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

● **雇用形態**

- ・正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- ・非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

● **勤務形態**

- ・常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（=フルタイム勤務者）
ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。
- ・非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。

- ① 女
- ② 男

回 答

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

- ① 19歳以下
- ⑤ 35歳～39歳
- ⑨ 55歳～59歳
- ② 20歳～24歳
- ⑥ 40歳～44歳
- ⑩ 60歳～64歳
- ③ 25歳～29歳
- ⑦ 45歳～49歳
- ⑪ 65歳～69歳
- ④ 30歳～34歳
- ⑧ 50歳～54歳
- ⑫ 70歳以上

回 答

問3 あなたの家族構成について、それぞれ該当する方に○を付けてください。
また、「あり」の場合は、人数も記入してください。

	あり	人数	なし
配偶者		/	
子供(未就学児)			
子供(小学生)			
要介護者			

問4 あなたが持っている免許は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 保健師	② 助産師	③ 看護師	④ 准看護師
-------	-------	-------	--------

--	--	--	--

問5 あなたが現在従事している職種は、次のうちどれですか。

- ① 保健師
- ② 助産師
- ③ 看護師
- ④ 准看護師

回 答

問6 あなたの現在の職場は、次のうちどれですか。また、施設所在地の地域をお答えください。

- ① 病院（500床以上）
- ② 病院（200床以上 500床未満）
- ③ 病院（200床未満）
- ④ 有床診療所
- ⑤ 無床診療所
- ⑥ 助産所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 介護老人保健施設
- ⑨ 介護医療院
- ⑩ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- ⑬ 有料老人ホーム等特定施設入居者生活介護施設
- ⑫ 居宅サービス事業所（⑦、⑬以外）
- ⑬ 看護小規模多機能型居宅介護事業所
- ⑭ 行政機関（保健所、区市町村）
- ⑮ その他（具体的に： _____)

} →問6-1へ

回 答	施設所在地
	市 区 町 村

問6-1 問6で①～③を選んだ方は、勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

- ① 急性期中心
- ② 回復期中心
- ③ 慢性期中心
- ④ 精神科病院
- ⑤ ①～④以外の病院

回 答

問7 あなたの雇用形態・勤務状況は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 正規雇用（フルタイム）
- ② 正規雇用（短時間）
- ③ 非正規雇用（フルタイム）
- ④ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週5日以上勤務
- ⑤ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週3～4日勤務
- ⑥ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週1～2日勤務
- ⑦ その他（具体的に： _____)

回答

問8 あなたの夜間の業務について、最も当てはまるものを選択してください。

- ① 夜間の勤務はない職場で働いている
- ② 夜勤を免除されている
- ③ 夜勤がある
- ④ 夜勤専従である
- ⑤ 当直がある
- ⑥ オンコール等の緊急時当番がある

回答

※ 夜勤とは、夜から翌朝までの勤務をいう。
※ 夜勤は法定労働時間内の勤務、当直は法定労働時間外の待機業務を指す。

問9 あなたの現在の職場内の職位は、次のうちどれですか。

- ① 管理者（管理職クラス）
- ② 看護師長（監督者クラス）
- ③ 一般（主任クラス）
- ④ 一般（一般クラス）
- ⑤ その他（具体的に： _____)

回答

問10 あなたのラダーレベルは、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① レベルⅠ（基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する）
- ② レベルⅡ（標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する）
- ③ レベルⅢ（ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する）
- ④ レベルⅣ（幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する）
- ⑤ レベルⅤ（より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する）
- ⑥ わからない

回答

※ラダーレベルは JNA ラダーの看護実践能力を参照しています。看護師以外の職種の方はこれに準じて選択してください。

問 11 あなたの資格についてお尋ねします。①～⑤の専門資格をお持ちの方は、現在の活用状況を選択し、○を付けてください。お持ちでない方は今後取得を検討している専門資格を選択し、○をつけてください。准看護師の方は看護師の資格取得を検討している場合に○をつけてください。

	活用できている	活用できていない	取得を検討している
① 認定看護師			
② 専門看護師			
③ 特定行為研修修了			
④ 認定看護管理者			
⑤ アドバンス助産師			
⑥ 看護師			

「あなたの職歴」についてお聞きします（看護職員としての職歴に限ります）

問 12 看護職員として、通算して何年働いていますか。

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答

問 13 今の職場で何年働いていますか。（同一法人内で異動したときは、通算した在籍期間としてください。）

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答

問 14 看護職場を退職した経験がありますか。

- ① 退職したことがある（→問 14-1）
- ② 退職したことはない（→問 15へ）

回 答

【問 14 で「① 退職したことがある」を選択した場合にお答えください。】

問 14-1 看護職員として働き始めて、今の施設は何か所目ですか。（同一法人内で異動したときは、1つの職場とみなしてください。）

	か所目
--	-----

問 14-2 今の施設の直前の施設の所在地は都内・都外のどちらですか。
具体的な地域を記入してください。

① 都内 → 区・市・町・村

② 都外 → 区・市・町・村

問 14-3 退職時、次の勤務先は決まっていたか。

- ① はい
- ② いいえ

回答

問 14-4 前職場の退職理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位3つまでを選択してください。

- ① 出産・育児
- ⑭ 職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む。）
- ② 転居
- ⑮ 職場の医療・看護の質・内容への不満
- ③ 自分の健康状況
- ⑯ 経済的に働かなくてもよくなった
- ④ 家族の健康・介護状況
- ⑰ 進学
- ⑤ 看護の知識・技術への不安、責任の重さ
- ⑱ 定年
- ⑥ 看護に魅力を感じなくなった
- ⑲ その他（具体的に： _____）
- ⑦ 看護以外にやりたいことがあった
- ⑧ 看護職として新たな経験を積みたかった
- ⑨ 業務多忙・労働（拘束）時間が長い
- ⑩ 不規則勤務・夜勤が体力的につらい
- ⑪ 勤務条件への不満（給与・福利厚生等）
- ⑫ 待遇への不満（キャリアアップの機会がない等）
- ⑬ 休暇を取得しにくい

回答	
第1順位	
第2順位	
第3順位	

問 14-5 今回の職場を探す際、利用したものをすべて選択し、○を付けてください。
また、最終的に転職先を見つけたものを1つ選択し、○を付けてください。

	回答	
	利用したもの (全て)	最終的に転職先を 見つけたもの(1つ)
① ナースバンク		
② ハローワーク		
③ 人材派遣会社		
④ 有料職業紹介会社(看護師転職サイト等)		
⑤ 新聞折り込み広告		
⑥ 電車内や駅等に貼られた広告		
⑦ 求人雑誌、医療・看護系雑誌		
⑧ 施設のホームページ		
⑨ SNSアプリ →最も活用しているアプリに○をつけてください。(Line・Facebook・その他)		
⑩ 知人の紹介、口コミ		
⑪ その他(具体的に: _____)		

問 15 今回の職場を選んだ理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位3つまで選択してください。

- ① 希望する看護ができる
- ② 興味のある分野、施設である
- ③ 新たな経験を積める
- ④ 通勤時間(片道: _____ 分)
- ⑤ 勤務時間が希望と合致している
- ⑥ 超過勤務が少ない
- ⑦ 夜勤がない
- ⑧ 給与が希望と合致している
- ⑨ 福利厚生が充実している
- ⑩ 休暇を取得しやすい
- ⑪ 育児・介護等の支援制度が充実している(具体的に: _____)
- ⑫ 研修・教育体制が充実している
- ⑬ キャリアアップ・昇任の機会がある
- ⑭ 職場の雰囲気が良い
- ⑮ その他(具体的に: _____)

回答	
第1順位	
第2順位	
第3順位	

「看護職員として働くこと」についてお聞きします

問 16 6年後（2025年）、あなたはどのようにしていると思いますか。最も近いものを選択してください。

- ① 今の職場で働いている（法人内の異動を含む）（→問 16-4へ）
- ② 今と同じ施設種別の職場に転職して、看護職として働いている（→問 16-1へ）
- ③ 今と異なる施設種別の職場に転職して、看護職として働いている（→問 16-2へ）
- ④ 看護分野で進学している（→問 16-4へ）
- ⑤ 看護職は辞めている（→問 16-6へ）

回 答

【問 16 で「② 今と同じ施設種別の職場に転職して、看護職として働いている」を選択した場合にお答えください。】

問 16-1 転職して働きたい理由を1つ選択してください。

- ① いろいろな職場を経験したいから
 - ② スキルアップしたいから
 - ③ 昇任機会のある職場で働きたいから
 - ④ 福利厚生の良い職場で働きたいから
 - ⑤ その他（具体的に： _____)
- } →問 16-4へ

回 答

【問 16 で「③ 今と異なる施設種別の職場に転職して、看護職として働いている」を選択した場合にお答えください。】

問 16-2 6年後（2025年）、どの施設へ転職していると思いますか。

- ① 病院（急性期中心）
- ② 病院（回復期中心）
- ③ 病院（慢性期中心）
- ④ 有床診療所
- ⑤ 無床診療所
- ⑥ 助産所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 介護医療院
- ⑨ 高齢者施設・居宅サービス事業所等
- ⑩ 障害者支援施設
- ⑪ 児童福祉施設
- ⑫ 行政機関（保健所、子供家庭支援センター、地域包括支援センター等）
- ⑬ 大学・養成所等の教育機関
- ⑭ その他（具体的に： _____)

回 答

問 16-3 今と異なる施設種別の職場で働きたい理由を1つ選択してください。

- ① いろいろな職場を経験したいから
(→経験したい施設種別を問 16-2 の施設から1つ選択してください：回答)
- ② スキルアップしたいから
- ③ 昇任機会のある職場で働きたいから
- ④ 福利厚生の良い職場で働きたいから
- ⑤ その他(具体的に：)

→問 16-4 へ

回 答

【問 16 で①～④を選択した場合にお答えください。】

問 16-4 今後、看護職員として、どのように働きたいですか。1つ選択してください。

- ① 家庭の事情等に合わせて、無理なく、働きやすい職場で働きたい (→問 16-5 へ)
- ② 出産・育児などの期間は仕事をやめて、その後看護職員として再就職したい
- ③ 専門・認定看護師取得や、特定行為研修を受け、専門性を活かして働きたい
- ④ 特に考えていない
- ⑤ その他(具体的に：)

→問 17 へ

回 答

【問 16-4 で「① 家庭の事情等に合わせて、無理なく、働きやすい職場で働きたい」を選択した場合にお答えください。】

問 16-5 働きやすい職場として、どのような職場を考えていますか。当てはまるものを上位2つまで選択してください。

- ① 不規則勤務がない職場、夜勤がない職場
- ② 自宅から近い職場
- ③ 短時間勤務が可能な職場
- ④ 休暇を取りやすい職場
- ⑤ 土・日・祝日に休める職場
- ⑥ 緊急の呼び出しがない職場
- ⑦ その他(具体的に：)

回 答	
第1順位	
第2順位	

【問 16 で「⑤ 看護職は辞めている」を選択した場合にお答えください。】

問 16-6 6年後(2025年)、看護職を辞めていると思う理由を1つ選択してください。

- ① 出産・育児
- ② 家族の介護
- ③ 不規則勤務、夜勤がつらいから
- ④ 休みが思うように取れないから
- ⑤ 労働時間(拘束時間)が長いから
- ⑥ 今の待遇(給与等)では続けていけないから
- ⑦ ストレスが大きいから
- ⑧ 体力的につらいから
- ⑨ 新しい知識・技術についていけないから
- ⑩ 看護業務に魅力を感じられないから
- ⑪ 看護以外にやりたいことがあるから
- ⑫ 経済的に就業する必要がないから
- ⑬ 定年
- ⑭ その他(具体的に: _____)

回答

あなたのセカンドキャリアプランについてお聞きします

問 17 定年退職後に働きたいと考えていますか。

- ① 働く
- ② 働かない (→問 18 へ)

回答

【問 17 で「① 働く」を選択した場合にお答えください。】

問 17-1 定年退職後に働きたい施設は、次のうちどれですか。

- ① 病院(急性期中心)
- ② 病院(回復期中心)
- ③ 病院(慢性期中心)
- ④ 有床診療所
- ⑤ 無床診療所
- ⑥ 助産所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 介護医療院
- ⑨ 高齢者施設・居宅サービス事業所等
- ⑩ 障害者支援施設
- ⑪ 児童福祉施設
- ⑫ 行政機関(保健所、子供家庭支援センター、地域包括支援センター等)
- ⑬ 大学・養成所等の教育機関
- ⑭ その他(具体的に: _____)



①～⑫を選択した場合 →問 17-2～問 17-4 へ
⑬、⑭を選択した場合 →問 18 へ

回答

【問 17-1 で①～⑫を選択した場合にお答えください。

問 17-2 定年退職後に希望する雇用形態は、次のうちどれですか。

- ① 常勤（フルタイム）
- ② 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） 週5日以上勤務
- ③ 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） 週3～4日勤務
- ④ 常勤以外（非常勤、パート、アルバイトなど） 週1～2日勤務
- ⑤ その他（具体的に： _____)

回答

問 17-3 定年退職後に働く場合の給与の額は、いくらぐらいになると想定していますか。

- ① 200万円未満
- ② 200万円～250万円未満
- ③ 250万円～300万円未満
- ④ 300万円～350万円未満
- ⑤ 350万円～400万円未満
- ⑥ 400万円～450万円未満
- ⑦ 450万円～500万円未満
- ⑧ 500万円以上

回答

問 17-4 定年退職後に働く場合、夜勤は行えますか。

- ① 夜勤専従でもよい
- ② 月8回までできる
- ③ 週1程度までできる
- ④ 月2回程度までならできる
- ⑤ 月1回程度までならできる
- ⑥ その他（具体的に： _____)
- ⑦ できない

回答

「その他のこと」についてお聞きします

問 18 退職したことがある方にお聞きします。東京都ナースプラザ事業のうち、知っているもの、利用したことがあるもの、役立ったものをすべて選択し、○を付けてください。

	知っている	利用したことがある	役立った
① 無料職業紹介所(ナースバンク)			
② ふれあいナースバンク(再就職相談会)			
③ 東京都ナースプラザで実施する再就業やスキルアップ、資質向上のための研修			
④ 地域の病院等で実施する無料の復職支援研修			

【問 18 の①～③における事業を利用したことがない場合にお答えください。】

問 18-1 利用したことがない理由を 1 つ選択してください。

- ① 知らない
- ② 関心がない
- ③ 希望に合致する施設の紹介がない
- ④ 場所（西新宿、立川）が不便
- ⑤ 夜間や日曜日に相談できない
- ⑥ 登録手続きが面倒
- ⑦ キャリアや年齢に応じた研修や施設の紹介がない
- ⑧ その他（具体的に： _____)

回答

問 19 平成 27 年 10 月以降に退職したことがある方にお聞きします。平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりました。あなたはナースセンターへ届出を行いましたか。（看護師等免許保持者の届出制度）

- ① 自分で届け出た
 - ② 退職した施設が代行して届け出た
 - ③ 届け出ていない（→問 19-2 へ）
- } →問 19-1 へ

回答

【問 19 で「① 自分で届け出た」または「② 退職した施設が代行して届け出た」と回答した場合にお答えください。】

問 19-1 再就職した際に、その旨を届け出ましたか。

- ① はい
- ② いいえ（→問 19-2 へ）

回答

【問 19 で「③ 届け出ていない」または問 19-1 で「② いいえ」と回答した場合にお答えください。】

問 19-2 届けなかった理由は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 届出が必要だと知らなかった
- ② 失念していた
- ③ 届出を行うことが面倒
- ④ 届け出てもメリットがない
- ⑤ 届け出なくても不利益はない
- ⑥ その他（具体的に： _____)

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

東京都看護人材実態調査

(従事者：看護補助者編)

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】株式会社アストジェイ（担当者：向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、**令和2年1月17日(金曜日)まで**に投函してください。(切手は不要です。)

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、施設が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員(保健師、助産師、看護師、准看護師)及び看護補助者に対して行うものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください。

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべて回答の対象です。

【用語の説明】

この調査における用語等について説明します。

● **雇用形態**

- ・ 正規雇用：任期（定年を除く）の定めのない雇用で、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- ・ 非正規雇用：パート、アルバイト、非常勤、派遣など任期（契約期間）の定めのある雇用

● **勤務形態**

- ・ 常勤：雇用形態を問わず、施設で定められた勤務時間を全て勤務する者（＝フルタイム勤務者）
ただし、定められた1週間の勤務時間が32時間未満の者は非常勤とする。
- ・ 非常勤：施設と雇用関係にあつて上記の常勤でない職員（週2日5時間勤務、週5日3時間勤務など）

「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。

- ① 女
- ② 男

回答

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

- ① 19歳以下 ⑤ 35歳～39歳 ⑨ 55歳～59歳
- ② 20歳～24歳 ⑥ 40歳～44歳 ⑩ 60歳～64歳
- ③ 25歳～29歳 ⑦ 45歳～49歳 ⑪ 65歳～69歳
- ④ 30歳～34歳 ⑧ 50歳～54歳 ⑫ 70歳以上

回答

問3 あなたの家族構成について、それぞれ該当する方に○を付けてください。
また、「あり」の場合は、人数も記入してください。

	あり	人数	なし
配偶者			
子供(未就学児)			
子供(小学生)			
要介護者			

問4 現在持っている、又は今後取得したい医療介護系の資格に○を付けてください。(複数回答可)

	持っている	今後取得したい
① 保健師		
② 助産師		
③ 看護師		
④ 准看護師		
⑤ 介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)		
⑥ 介護支援専門員(ケアマネージャー)		
⑦ 介護福祉士		
⑧ その他(具体的に:)		

問5 あなたの現在の職場は、次のうちどれですか。また、施設所在地の地域をお答えください。

- ① 病院 (500 床以上)
 - ② 病院 (200 床以上 500 床未満)
 - ③ 病院 (200 床未満)
 - ④ 有床診療所
- } (→問5-1へ)

回答	施設所在地
	市区町村

問5で ①～③を選んだ方は、勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

問5-1 勤務先の病院が次のうちどれに当てはまるかを選択してください。

- ① 急性期中心
- ② 回復期中心
- ③ 慢性期中心
- ④ 精神科病院
- ⑤ ①～④以外の病院

回答

問5-2 主として働いている部署を選択してください。

- ① 病棟 (急性期)
- ② 病棟 (慢性期)
- ③ 外来部門
- ④ 検査部門
- ⑤ 中央材料室
- ⑥ 手術室
- ⑦ ICU・CCU・SCU・NICU

回答

⑧ その他の部署（具体的に： _____ ）

問6 あなたの雇用形態・勤務状況は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 正規雇用（フルタイム）
- ② 正規雇用（短時間）
- ③ 非正規雇用（フルタイム）
- ④ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週5日以上勤務
- ⑤ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週3～4日勤務
- ⑥ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） 週1～2日勤務
- ⑦ その他（具体的に： _____ ）

回答

問7 あなたの夜間の業務について、最も当てはまるものを選択してください。

- ① 夜間の勤務はない職場で働いている
- ② 夜勤を免除されている
- ③ 夜勤がある
- ④ 夜勤専従である
- ⑤ 当直がある
- ⑥ オンコール等の緊急時当番がある

回答

※ 夜勤とは、夜から翌朝までの勤務をいう。
 ※ 夜勤は法定労働時間内の勤務、当直は法定労働時間外の待機業務を指す。

問8 職場で実際に行っている業務をすべて選択し、○を付けてください。また、行っているが技術的に難しいと感じている業務がある場合は、○を付けてください。

業務内容		行っているもの (全て)	難しいと感じる もの(1つ)
周辺業務 (対象者に接しない業務)	生活環境に関わる業務	① 病床及び病床周辺の清掃・整頓	
		② 病室環境(温度、湿度、採光、換気など)の調整	
		③ シーツ交換やベッドメイキング(退院後や空床、離床可能な人)	
		④ リネン類の管理	
		⑤ その他(具体的に: _____)	
	診療に関わる周辺業務	⑥ 処置・検査等の伝票類の準備、整備	
		⑦ 診療に必要な書類の整備・補充	
		⑧ 診察に必要な器械・器具等の準備、片付け	
		⑨ 診療材料の補充・整理	
		⑩ 入退院・転出入に関する業務	
		⑪ その他(具体的に: _____)	
直接ケア (「対象者の状態像」、 「看護補助者が業務を 実施する状況」によっ て、看護補助者が実施 可能かどうかは異なる)	日常生活に関わる業務	⑫ 食事に関する業務	
		⑬ 身体の清潔に関する業務	
		⑭ 排泄に関する業務	
		⑮ 安全安楽に関する業務 <small>(電法、体位交換、見守りなど)</small>	
		⑯ 移動・移送に関する業務	
		⑰ その他(具体的に: _____)	

「あなた自身のこと」についてお聞きします

問9 看護補助者になる直前の職業について、該当するものを一つ選んでください。

⑧と⑨を選んだ方は具体的な内容を（ ）内に記入してください。

- ① 看護師・准看護師
- ② 介護職員
- ③ 事務員
- ④ スーパー、コンビニエンスストアなどでの販売員
- ⑤ 工場での製造、加工、機械組立員
- ⑥ タクシー、バスなどの運転手
- ⑦ 配達員、倉庫作業員、清掃員
- ⑧ 自営業（具体的に： _____）
- ⑨ その他の職業（具体的に： _____）
- ⑩ 職業経験なし

回 答

問10 看護補助者を選んだ理由は何ですか。

当てはまるもの全てに○をつけてください。（複数回答可）

① 人の役に立てる仕事だと思った	
② 看護補助者に興味があった	
③ いままでの経験や持っている資格がいかせる	
④ 働きながら看護や介護に関する資格を取るための勉強ができる	
⑤ 経験や資格がなくても応募しやすい	
⑥ 幅広い年代が応募しやすい	
⑦ 育児や介護と両立しやすい	
⑧ 勤務時間や給与額が希望と合致した	
⑨ 近所の病院でたまたま募集していた	
⑩ その他（具体的に： _____）	

問 11 看護補助者の求人をどこで知りましたか。

当てはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答可)

① ハローワーク	
② 人材派遣会社	
③ 有料職業紹介会社 (看護師転職サイト等)	
④ 広告・求人雑誌	
⑤ 施設のホームページ	
⑥ SNS アプリ ※利用したものに○をつけてください。→ (Line・Facebook・その他)	
⑦ 知人の紹介、口コミ	
⑧ その他 (具体的に :)	

問 12 看護補助者として、通算して何年働いていますか。

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答

問 13 今の職場で何年働いていますか。(同一法人内で異動したときは、通算した在籍期間としてください。)

- ① 1年未満
- ② 1年以上3年未満
- ③ 3年以上5年未満
- ④ 5年以上10年未満
- ⑤ 10年以上15年未満
- ⑥ 15年以上20年未満
- ⑦ 20年以上

回 答

問 14 今の職場の給与について当てはまるものを選択してください。

(時給の場合)

- ① 1,000 円～1,200 円
- ② 1,200 円～1,400 円
- ③ 1,400 円～1,600 円
- ④ 1,600 円以上

(月給の場合) ※税込み支給額 (交通費除く) でお答えください。

- ⑤ 5 万円未満
- ⑥ 5 万円～10 万円未満
- ⑦ 10 万円～15 万円未満
- ⑧ 15 万円～20 万円未満
- ⑨ 20 万円～25 万円未満
- ⑩ 25 万円以上

回答

問 15 6 年後 (2025 年)、あなたはどのようにしていると思いますか。最も近いものを選択してください。

- ① 看護補助者として働き続けている
- ② 看護補助者として働きながら、看護師等の資格取得を目指している
- ③ 退職して、看護師等の資格取得を目指している
- ④ 退職し、まったく別の職業に就いている
- ⑤ 看護師又は准看護師として働いている
- ⑥ その他 (具体的に : _____)

回答

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

東京都看護人材実態調査（離職者編）

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】 株式会社アストジェイ （担当者：向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、令和2年1月17日（金曜日）までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、e ナースセンターに登録している看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）に対して行うものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべて回答の対象です。

調査実施機関：  東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

「あなた自身のこと」についてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。また、差し支えなければ、お住まいの地域を記入してください。

- ① 女
- ② 男

回答	お住まいの地域	
	都 県	区 市 町 村

問2 あなたの年齢は何歳ですか。

- ① 19歳以下
- ⑤ 35歳～39歳
- ⑨ 55歳～59歳
- ② 20歳～24歳
- ⑥ 40歳～44歳
- ⑩ 60歳～64歳
- ③ 25歳～29歳
- ⑦ 45歳～49歳
- ⑪ 65歳～69歳
- ④ 30歳～34歳
- ⑧ 50歳～54歳
- ⑫ 70歳以上

回 答

問3 あなたの家族構成について、それぞれ該当する方に○を付けてください。また、「あり」の場合は、人数も記入してください。

	あり		なし
		人数	
配偶者		/	
子供(未就学児)			
子供(小学生)			
要介護者			

問4 あなたが持っている免許は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 保健師	② 助産師	③ 看護師	④ 准看護師

問5 これまで看護職員として働いていた期間は、通算して何年ですか。

- ① 1年未満
- ⑤ 10年以上 15年未満
- ② 1年以上 3年未満
- ⑥ 15年以上 20年未満
- ③ 3年以上 5年未満
- ⑦ 20年以上
- ④ 5年以上 10年未満

回 答

問6 現在の就業状況は、次のうちどれですか。

- ① 看護職として就業している (→問6-1～問6-5へ)
- ② 看護職以外で就業している (→問7へ)
- ③ 特定の仕事にはついていない (→問7へ)

回答

【問6で「① 看護職として就業している」を選択した場合、問6-1～問6-5にお答えください。】

問6-1 就業先を探す際、利用したものをすべて選択し、○を付けてください。

① ナースバンク	
② ハローワーク	
③ 人材派遣会社	
④ 有料職業紹介会社(看護師転職サイト等)	
⑤ 新聞折り込み広告	
⑥ 電車内や駅等に貼られた広告	
⑦ 求人雑誌、医療・看護系雑誌	
⑧ 施設のホームページ	
⑨ SNSアプリ →もっとも活用しているアプリに○ (Line ・ Facebook ・その他)	
⑩ 知人の紹介、口コミ	
⑪ その他(具体的に: _____)	

問6-2 就業につながった理由は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 看護職を退職した理由が解消された	
② 希望条件を満たす就業先が見つかった	
③ 地域の病院等における無料の復職支援研修を受講した	
④ その他(具体的に: _____)	

問6-3 現在の就業先に勤めるまでの離職期間はどのくらいでしたか。

- ① 3か月未満
- ② 3か月以上6か月未満
- ③ 6か月以上1年未満
- ④ 1年以上2年未満
- ⑤ 2年以上3年未満
- ⑥ 3年以上

回答

問6-4 直前の就業先を退職した理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位2つまで選択してください。

- ① 出産・育児
- ② 転居
- ③ 自分の健康状況
- ④ 家族の健康・介護状況
- ⑤ 看護の知識・技術への不安、責任の重さ
- ⑥ 看護に魅力を感じなくなった
- ⑦ 看護以外にやりたいことがあった
- ⑧ 看護職として新たな経験を積みたかった
- ⑨ 業務多忙・労働（拘束）時間が長い
- ⑩ 不規則勤務・夜勤が体力的につらい
- ⑪ 勤務条件への不満（給与・福利厚生等）
- ⑫ 待遇への不満（キャリアアップの機会がない等）
- ⑬ 休暇を取得しにくい
- ⑭ 職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む。）
- ⑮ 職場の医療・看護の質・内容への不満
- ⑯ 経済的に働かなくてもよくなった
- ⑰ 進学
- ⑱ 定年
- ⑲ その他（具体的に： _____)

回 答	
第1順位	
第2順位	

問6-5 あなたの直前の就業先と現在の就業先は次のうちのどれですか。

- ① 病院（急性期中心）
- ② 病院（回復期中心）
- ③ 病院（慢性期中心）
- ④ 精神科病院
- ⑤ 有床診療所
- ⑥ 無床診療所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 助産所
- ⑨ 高齢者施設・居宅サービス事業所等
- ⑩ 障害者支援施設
- ⑪ 児童福祉施設
- ⑫ 行政機関（保健所、地域包括支援センター等）
- ⑬ 大学・養成所等の教育機関
- ⑭ その他（具体的に： _____)

回 答	
直前の就業先	
現在の就業先	

以上で調査は終了です
ご協力ありがとうございました。

「仕事をやめたときのこと」についてお聞きします

問7 看護職員として最後に働いていた職場は何か所目でしたか。
(同一法人内で異動したときは、1つの職場とみなしてください。)

か所目

問8 看護職員として最後に働いていた職場は、次のうちどれですか。

- ① 病院（急性期中心）
- ② 病院（回復期中心）
- ③ 病院（慢性期中心）
- ④ 精神科病院
- ⑤ 有床診療所
- ⑥ 無床診療所
- ⑦ 訪問看護ステーション
- ⑧ 助産所
- ⑨ 高齢者施設・居宅サービス事業所等
- ⑩ 障害者支援施設
- ⑪ 児童福祉施設
- ⑫ 行政機関（保健所、地域包括支援センター等）
- ⑬ 大学・養成所等の教育機関
- ⑭ その他（具体的に： _____)

回答

問9 看護職員として最後に働いていた職場を退職した理由は、次のうちどれですか。
当てはまるものを上位3つまで選択してください。

- ① 出産・育児
- ② 転居
- ③ 自分の健康状況
- ④ 家族の健康・介護状況
- ⑤ 看護の知識・技術への不安、責任の重さ
- ⑥ 看護に魅力を感じなくなった
- ⑦ 看護以外にやりたいことがあった
- ⑧ 看護職として新たな経験を積みたかった
- ⑨ 業務多忙・労働（拘束）時間が長い
- ⑩ 不規則勤務・夜勤が体力的につらい
- ⑪ 勤務条件への不満（給与・福利厚生等）
- ⑫ 待遇への不満（キャリアアップの機会がない等）
- ⑬ 休暇を取得しにくい
- ⑭ 職場の人間関係（セクハラ・パワハラを含む。）
- ⑮ 職場の医療・看護の質・内容への不満
- ⑯ 経済的に働かなくてもよくなった
- ⑰ 進学
- ⑱ 定年
- ⑲ その他（具体的に： _____)

回答		
第1順位	第2順位	第3順位

問10 平成27年10月以降に退職された方にお聞きします。平成27年10月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、離職した場合などに住所、氏名等の届け出をすることになりました。あなたはナースセンターへ届出を行いましたか。
(看護師等免許保持者の届出制度)

- ① 自分で届け出た
- ② 退職した施設が代行して届け出た
- ③ 届け出ていない (→問10-1へ)

回答

【問10で「③ 届け出ていない」を選択した場合にお答えください。】

問10-1 届け出ていない理由は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 届出が必要だと知らなかった
- ② 失念していた
- ③ 届出を行うことが面倒
- ④ 届け出てもメリットがない
- ⑤ 届け出なくても不利益はない
- ⑥ その他（具体的に： _____）

回答

「看護職員としての再就業」についてお聞きします。

問11 現在、求職活動をしていますか。

- ① 看護職で求職活動をしている
 - ② 看護職以外で求職活動をしている
 - ③ 職種を問わず、求職活動をしている
 - ④ 求職活動をしていない
- } (問12へ)

回答

問11-1 看護職としての就業につながらない理由は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 採用されなかった
- ② 希望条件を満たす就業先が見つからない
- ③ その他（具体的に： _____）

回答

問12 看護業務への再就業について、どのように考えていますか。

- ① 近々（1年未満）再就業したい
 - ② 将来的に（1年以上先）再就業したい
 - ③ 再就業するつもりはない（→問12-8へ）
 - ④ 再就業するかどうかは未定（→問13へ）
- } →問12-1へ

回答

【問12で「① 近々再就業したい」又は「② 将来的に再就業したい」を選択した場合、問12-1～問12-7にお答えください。】

問12-1 再就業を考えるようになったきっかけは、次のうちどれですか。当てはまるものを上位2つまで選択してください。（④を選択した場合、子供の年齢を記入してください。）

- ① 看護の仕事が好きだから
- ② 経済的な事情
- ③ 自分の病気・体調が回復したから
- ④ 育児が一段落したから（子供の年齢 _____ 歳）
- ⑤ 介護が一段落したから
- ⑥ 地域の病院等における無料の復職支援研修があることを知ったから
- ⑦ 短時間勤務、近隣職場など、選択肢があることを知ったから
- ⑧ もともと長期に離職しないで復職したかったから
- ⑨ その他（具体的に： _____）

回答	
第1順位	
第2順位	

問 12-2 再就業を希望する職場は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- | | | | | |
|--------------------|-------------------------|---|-----|--|
| ① 病院（急性期中心） | ⑩ 障害者支援施設 | <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="padding: 2px;">回 答</td></tr> <tr><td style="height: 50px;"></td></tr> </table> | 回 答 | |
| 回 答 | | | | |
| | | | | |
| ② 病院（回復期中心） | ⑪ 児童福祉施設 | | | |
| ③ 病院（慢性期中心） | ⑫ 行政機関（保健所、地域包括支援センター等） | | | |
| ④ 精神科病院 | ⑬ 大学・養成所等の教育機関 | | | |
| ⑤ 有床診療所 | ⑭ 現時点では考えが定まっていない | | | |
| ⑥ 無床診療所 | ⑮ 施設種別の希望は特にない | | | |
| ⑦ 助産所 | ⑯ その他 | | | |
| ⑧ 訪問看護ステーション | （具体的に： _____） | | | |
| ⑨ 高齢者施設・居宅サービス事業所等 | | | | |

問 12-3 再就業をする際に希望する雇用形態は、次のうちどれですか。

- | | | | |
|--------------------------|---|-----|--|
| ① 正規雇用（フルタイム） | <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="padding: 2px;">回 答</td></tr> <tr><td style="height: 50px;"></td></tr> </table> | 回 答 | |
| 回 答 | | | |
| | | | |
| ② 正規雇用（短時間） | | | |
| ③ 非正規雇用（非常勤、パート、アルバイトなど） | | | |

問 12-4 再就業先を選ぶ際に重視することは、次のうちどれですか。当てはまるものを上位3つまで選択してください。（④、⑤、⑥を選択した場合、それぞれ数字を記入してください。）

- | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------|--|------|--|--|------|------|------|--|--|--|
| ① 希望する看護ができる | ⑬ 研修・教育体制が充実している | <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="3" style="padding: 2px;">回 答</td></tr> <tr> <td style="padding: 2px;">第1順位</td> <td style="padding: 2px;">第2順位</td> <td style="padding: 2px;">第3順位</td> </tr> <tr> <td style="height: 50px;"></td> <td style="height: 50px;"></td> <td style="height: 50px;"></td> </tr> </table> | 回 答 | | | 第1順位 | 第2順位 | 第3順位 | | | |
| 回 答 | | | | | | | | | | | |
| 第1順位 | 第2順位 | | 第3順位 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| ② 興味のある分野、施設である | ⑭ キャリアアップ・昇任の機会がある | | | | | | | | | | |
| ③ 新たな経験を積める | ⑮ 職場の雰囲気が良い | | | | | | | | | | |
| ④ 通勤時間（片道 _____ 分以内） | ⑯ その他（具体的に： _____） | | | | | | | | | | |
| ⑤ 一日の勤務時間（ _____ 時頃～ _____ 時頃） | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 週の勤務日数（週 _____ 日） | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 超過勤務が少ない | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 夜勤がない | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 給与 | | | | | | | | | | | |
| ⑩ 福利厚生が充実している | | | | | | | | | | | |
| ⑪ 休暇を取得しやすい | | | | | | | | | | | |
| ⑫ 育児・介護等の支援が充実している（具体的に： _____） | | | | | | | | | | | |

問 12-5 再就業先を探す際、利用したい（利用している）ものは、次のうちどれですか。利用したい（利用している）ものをすべて選択し、○を付けてください。

	利用したい (利用している)
① ナースバンク	
② ハローワーク	
③ 人材派遣会社	
④ 有料職業紹介会社(看護師転職サイト等)	
⑤ 新聞折り込み広告	
⑥ 電車内や駅等に貼られた広告	
⑦ 求人雑誌、医療・看護系雑誌	
⑧ 施設のホームページ	
⑨ SNSアプリ →もっとも活用しているアプリに○ (Line ・ Facebook ・その他)	
⑩ 知人の紹介、口コミ	
⑪ その他(具体的に: _____)	

【問 12-5 でナースバンクを利用したいに○を付けた場合にお答えください。】

問 12-6 ナースバンクを利用したい（利用している）理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位2つまで選択してください。

- ① 無料で利用できる
- ② 所在地が便利（西新宿、立川）
- ③ 看護職が対応してくれる
- ④ きめ細やかなサポートがある
- ⑤ 希望条件に近い施設がある
- ⑥ その他（具体的に: _____)

回 答	
第1順位	
第2順位	

【問 12-5 でナースバンクを利用したいに○を付けなかった場合にお答えください。】

問 12-7 ナースバンクを利用しない理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位2つまで選択してください。

- ① 希望条件に近い施設がない
- ② 人材派遣会社・有料職業紹介会社（看護師転職サイト等）の方が対応が早い
- ③ 就業先の決定までに時間がかかる
- ④ 相談時に紹介される施設が少ない
- ⑤ メールによる新規登録施設等の積極的な情報提供がない
- ⑥ 求職登録が複雑
- ⑦ 所在地が不便（西新宿、立川）
- ⑧ その他（具体的に: _____)

回 答	
第1順位	
第2順位	

【問 12 で「③ 再就業するつもりはない」を選択した場合にお答えください。】

問 12-8 再就業するつもりがない理由は、次のうちどれですか。当てはまるものを上位 2 つまで選択してください。

- ① 他業種に就業中だから
- ② 育児又は介護に専念したいから
- ③ 経済的に就業する必要がないから
- ④ 夜勤があるから
- ⑤ 責任が重いから・医療事故が不安だから
- ⑥ 看護の知識・技術に不安があるから
- ⑦ 看護にやりがいを見いだせないから
- ⑧ 人間関係が良くないから
- ⑨ 看護以外でやりたい仕事があるから
- ⑩ 休暇が取りづらいから
- ⑪ その他（具体的に： _____)

回 答	
第1順位	
第2順位	

「その他のこと」についてお聞きします

問 13 東京都ナースプラザでは、看護職の就職相談会（ふれあいナースバンク）を年 8 回実施していますが、参加したいと思いませんか。

- ① はい （→問 13-1 へ）
- ② いいえ （→問 13-2 へ）

回 答

【問 13 で「① はい」を選択した場合にお答えください。】

問 13-1 看護職の就職相談会（ふれあいナースバンク）において、魅力を感じる点は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 無料で参加できる	
② 子どもと一緒に参加できる	
③ 事前申込が不要である	
④ 入退場が自由にできる	
⑤ 病院・施設と直接対面して相談できる	
⑥ 病院・施設の参加数が多い	
⑦ 会場（西新宿、立川）までのアクセスがよい	
⑧ 東京都ナースプラザのホームページで事前に参加施設がわかる	
⑨ 参加施設の採用担当者（事務職）と話ができる。	
⑩ 参加施設の看護職と話ができる。	
⑪ その他（具体的に： _____)	

【問13で「② いいえ」を選択した場合にお答えください。】

問13-2 どのような就職相談会であれば、参加したいと思えますか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 実施回数が多い	
② 西新宿、立川以外の会場での開催がある（具体的に：_____）	
③ 病院・施設の参加数が多い	
④ 順番待ちの時間が短い、順番待ちの時間も有効活用できる	
⑤ 参加施設の採用担当者（事務職）と話ができる	
⑥ 参加施設の看護職と話ができる	
⑦ その他（具体的に：_____）	

問14 東京都ナースプラザで実施している看護職員の再就業に向けた研修を知っていますか。

- ① 受講したことがある（→問14-1へ）
- ② 受講するつもりである（→問15へ）
- ③ 知っているが受講したことはない（→問14-2へ）
- ④ 知らない（→問15へ）

回 答

【問14で「① 受講したことがある」を選択した場合にお答えください。】

問14-1 受講した研修は、どのようなテーマでしたか。直近のものを3つまで記入してください。また、研修内容の満足の度合いについて、○を付けてください。

テーマ	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
再就職へのステップ3日間研修 ～技術研修（採血・輸液）1日含					
求職者のための採血・点滴静脈内注射の基本（1日）					
求職者のためのフィジカルアセスメント（1日） ～看護観察から判断まで（実技含）					
求職者のための急変時の看護（半日）					
その他（_____）					

【問 14 で「③ 知っているが受講したことはない」を選択した場合にお答えください。】

問 14-2 研修を受講したことがない理由は、次のうちどれですか。

- ① 会場が自宅から遠いから
- ② 受講したいプログラムがないから
- ③ 時間が取れないから
- ④ 子供を預けられないから
- ⑤ 具体的なプログラムまでは知らないから
- ⑥ 必要性を感じていないから
- ⑦ eラーニングがないから
- ⑧ その他（具体的に：

回 答

問 14-2 で「②受講したいプログラムがないから」を選択した場合におこたえください。

問 14-3 どのような内容のプログラムであれば、受講したいと思いますか。具体的に記入してください。

問 15 東京都では、離職中の看護職員を対象に、地域の病院等で無料の復職支援研修を実施していますが、受講したいと思いますか。

- ① はい （→問 15-1 へ）
- ② いいえ （→問 15-2 へ）

回 答

【問 15 で「① はい」を選択した場合にお答えください。】

問 15-1 復職支援研修について、魅力を感じる内容は、次のうちどれですか。当てはまるものをすべて選択し、○を付けてください。

① 最近の医療、看護の動向等の講義がある	
② 手技演習がある	
③ 病棟実習がある	
④ 再就業相談がある	
⑤ 日程やコースを選択できる	
⑥ 身近な地域で受講できる	
⑦ 病院以外に、訪問看護ステーション等での実習ができる	
⑧ 無料で受講できる	
⑨ その他（具体的に：	）

【問 15 で「② いいえ」を選択した場合にお答えください。】

問 15-2 研修を受講したことがない理由は、次のうちどれですか。最も当てはまるものを選択してください。

- ① 受講したいプログラムがないから (→問 15-3 へ)
- ② 会場が自宅から遠いから
- ③ 時間が取れないから
- ⑤ 具体的なプログラムまでは知らないから
- ⑥ 必要性を感じていないから
- ⑦ その他 (具体的に :

回 答

【問 15-2 で「① 受講したいプログラムがないから」を選択した場合にお答えください。】

問 15-3 どのような内容のプログラムであれば、受講したいと思いますか。具体的に記入してください。

--

以上で調査は終了です。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

令和元年度実施

東京都看護人材実態調査（教育機関養成施設編）

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】 株式会社アストジェイ（担当者：向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、**令和2年1月17日(金曜日)**までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、各教育機関・養成施設に勤務する看護職員（保健師、助産師、看護師）と在籍する看護学生に関するものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。

調査実施機関：  東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

お手数ですが、全ての調査項目について各課程ごと、大学にあっては、大学院、大学、専攻科ごとにお答えください。

I 基本情報

「施設等の基本情報」についてお聞きします

※以下については令和元年12月1日現在で記入してください。

問1 貴施設の名称について、国又は都知事の許可を受けている名称を記入してください。

(例) 学校法人〇〇

問2 貴施設の住所を記入してください。

(区市町村名から)

問3 貴施設の施設種別は次のうちどれですか。

- ① 大学院
- ② 大学
- ③ 看護師等養成所
- ④ 高等学校
- ⑤ 助産学専攻科

回答

問4 貴施設の設置者である団体・法人では、次の①～⑧の施設を運営していますか。運営している場合には、該当するものすべてに○を付けてください。

① 病院	
② 診療所	
③ 助産所	
④ 訪問看護ステーション	
⑤ 介護老人保健施設	
⑥ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	
⑦ 有料老人ホーム	
⑧ その他（具体的に： _____）	

問5 令和7（2025）年までに課程や学生定員の変更予定はありますか？

- ① 有
- ② 無

回答

【令和7（2025）年末までに変更の予定がある場合にお答えください。】

問5-1 どのような変更ですか。

- ① 学生定員増
- ② 学生定員減
- ③ 養成課程の変更
- ④ 学科の増設
- ⑤ 学科の廃止
- ⑥ 専門職大学への変更
- ⑦ 廃校

回答

II 看護教員の状況

「就業状況」についてお聞きします

【看護師等養成所の方にお聞きします。】

問6 令和元年12月1日現在在籍している看護教員（休業退職者を含む）について、雇用形態別、就業形態別、職種別の教員数を記入してください。また、正規雇用の教員については年齢区分人数も記入してください。

【注釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入
例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 専任教員とは養成所指定規則に規定する資格を有する専任の教員のこと。
- 正規雇用 任期の定め（定年を除く）のない雇いで、育児・介護等による短時間正規雇用を含む。
- 非正規雇用 任期の定めのある雇用（再雇用含む）
- 常勤：学校で定められた勤務時間を全て勤務する教員（フルタイム）
- 非常勤：学校と雇用関係にあつて常勤（フルタイム）でない教員のうち、看護職の資格を持ち、「看護学」を教えている教員を記入（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）

〈令和元年12月1日現在〉

（単位：人）

	専任教員の定数	正規雇用		非正規雇用	
		常勤	短時間正規雇用	常勤	非常勤
保健師					
助産師					
看護師					
合計					

	～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～	合計
常勤											

【大学・大学院の方にお聞きします。】

問7 令和元年12月1日現在在籍している看護教員（休業退職者を含む）について、職位別に記入してください。

【注釈】

- 看護教員とは看護師、助産師、保健師のいずれかの免許を取得している教員のこと。
- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入
例) 助産師と看護師の免許を所有し、主に母性看護学を担当している場合 ⇒ 「助産師」欄に記入
- 非常勤講師は看護職の資格をもち、「看護学」を教えている教員を記入（特任教員も含む）
（週2日5時間の勤務の教員、非常勤講師等）
- 大学院と大学の両方に在籍されている看護教員は主たる方に人数を入れ、重複計上しないようにすること。

〈令和元年12月1日現在〉

（単位：人）

		教授	准教授	講師	助教	助手	合計	非常勤講師
専任教員の定数								
看護教	保健師							
	助産師							
その他の教員					62			

6年後の令和7（2025）年の看護教員配置計画についてお聞きします

問8 6年後の令和7(2025)年12月1日現在の看護教員数は令和元年12月1日現在の実人数と比べて
 どうなる見込みですか。

- ① 増えている →問8-1へ
 ② 変わらない
 ③ 減っている →問8-1へ
 ④ わからない

回答

【問8で令和7(2025)年末までに看護教員の増減予定がある場合にお答えください。】

問8-1 令和7(2025)年末までの需要実人員の主たる増減理由を1つ選択してください。

- ① 学生定員数の変更
 ② 教育課程の変更
 ③ 教育体制・実習指導体制の充実、見直し
 ④ 勤務環境（ライフワークバランスに関する制度）の充実・見直し
 ⑤ 研修受講の充実・見直し
 ⑥ その他（具体的に： _____)

回答

採用状況についてお聞きます

【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。

問9 平成30年度及び令和元年度(4月～9月末)の専任看護教員の募集及び採用人数について、職種別に記入してください。

	平成30年度		令和元年度 (4月～9月末)	
	募集人数	採用人数	募集人数	採用人数
保健師				
助産師				
看護師				
合計				

問9-1 平成30年度及び令和元年度(4月～9月末)の専任看護教員採用者について年齢別、臨床経
 験別に人数を記入してください。

年齢区分	～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳～	合計
平成30年度										
令和元年度(4月～9月)										

臨床経験	新卒	3年未 満	3～5年 未満	5～10 年未満	10～15 年未満	15～20 年未満	20年 以上	合計
平成30年度								
令和元年度(4月～9月)								

※合計は、問9の合計と一致します。

問 10 看護教員の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。
また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

	行っている (○は複数)	最も効果あり (◎は1つ)
① 教員養成課程修了(予定)者へのリクルート		
② 求人情報誌・看護系雑誌への掲載		
③ インターネット上の教員公募サイト		
④ 学校のホームページ・SNS等		
⑤ ナースバンク(無料職業紹介所)の利用		
⑥ ハローワーク(無料職業安定所)の利用		
⑦ 有料職業紹介事業者の利用		
⑧ 自校同窓会等への働きかけ		
⑨ 他教育機関教員への働きかけ		
⑩ 自校の退職者を勧誘		
⑪ 関係病院からの異動		
⑫ 看護教員の口コミ		
⑬ 看護教員実習生の受け入れ		
⑭ その他(具体的に:)		

問 11 看護教員の確保について3年前と比較してどう感じているかを5段階評価でお答えください。
あてはまる回答の数値に○を付けてください。



「退職」についてお聞きます

【注釈】

- 複数免許を有する場合は、担当している授業に最も関係する資格欄に記入してください。
- 非正規雇用・非常勤講師は含みません。

問 12 平成 30 年度の専任看護教員の退職状況と主な理由別の内訳について記入してください。

(単位:人)

	平成30年
退職者総数	

(内訳)

退職理由	人数	退職理由	人数
① 定年退職		⑦ 出産・育児	
② 他校への転職		⑧ 職場の人間関係	
③ 臨床現場への転職		⑨ 勤務の負担	
④ 本人の心身の不調		⑩ 進学	
⑤ 家族の健康・介護問題		⑪ 経済的に働く必要がなくなった	
⑥ 転居		⑫ その他(具体的に:)	

問 13 平成 30 年度の専任看護教員の退職者の勤続年数別の人数を記入して下さい。

(単位:人)

勤続年数	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	合計
退職者数								

※合計は、問 12 の退職者総数と一致します。

「専任看護教員の研修等」についてお聞きします

問 14 専任看護教員の資質向上のための研修を学校内で実施していますか。

- ① 実施している (→問 14-1 へ)
② 実施していない (→問 14-2 へ)

回答

【問 14 で「①実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 14-1 どのような研修を行っていますか。

--

【問 14 で「②実施していない」を選択した場合にお答えください。】

問 14-2 外部の研修を利用していますか。

- ① 利用している (→問 14-3 へ)
② 利用していない

回答

【問 14-2 で「①利用している」を選択した場合にお答えください。】

問 14-3 どのような研修を利用していますか。研修名、実施場所等をご記入ください。

例) 「中堅看護教員ブラッシュアップ研修」(東京都ナースプラザ実施)

問 15 専任教員の資質向上のためにどのような研修が必要ですか。具体的に記載してください。

--

問 16 看護研究に対し、どのような支援を行っていますか。具体的に記載してください。

--

Ⅲ 養成課程別学生の状況 ※養成課程別にご回答をお願いします。

入学状況についてお聞きします

問 17 養成課程は、次のうちのどのコースですか。

- ① 保健師・助産師・看護師コース（大学・大学校）
- ② 保健師コース（大学院）
- ③ 助産師コース（大学院）
- ④ 助産師コース（大学専攻科）
- ⑤ 助産師コース（昼1年）
- ⑥ 助産師コース（定時制昼2年）
- ⑦ 保健師・看護師コース（統合カリキュラム）
- ⑧ 看護師コース（3年課程）
- ⑨ 看護師コース（2年課程全日制）
- ⑩ 看護師コース（2年課程・定時制昼3年）
- ⑪ 看護師コース（2年課程・定時制夜3年）
- ⑫ 看護師コース（2年課程・通信制）
- ⑬ 准看護師コース（昼2年）
- ⑭ 准看護師コース（昼3年）

問 18 令和元年度の1学年の定員数は何人ですか。また総定員数は何人ですか。

1学年定員数		人
総定員数		人

問 19 令和元年度の応募・受験者数等について記入してください。

（単位：人）

令和元年度	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
/					

問 20 令和元年度の入学者を男女別、出身地（都内・都外）別に記入してください。

※出身地については、入学試験願書提出時の居住地とします。

（単位：人）

令和元年度	男	女	合計
入学者数			
(内数)都内出身者			
(内数)都外出身者			

※入学者数の計は、問18の入学者数と一致します。

問 21 令和元年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

問21 令和元年度の入学者の人数を年齢別に記入してください。

（単位：人）

令和元年度	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳～	平均年齢
入学者数										

※各年齢区分の計は、問19の入学者数と一致します。

問 22 学生の確保について、次の中で実際に行っているものすべてを選択し、○を付けてください。
また、その中で最も効果があったと思うもの1つを選択し、◎を付けてください。

	行っている (○は複数)	最も効果あり (◎は1つ)
① 教育内容の充実、ユニークな教育活動		
② ホームページの充実、頻繁な更新		
③ 入学試験における科目や形態の変更、多様化		
④ 入学試験における推薦枠の拡充		
⑤ 入学試験における社会人枠の拡充		
⑥ 高校訪問、勧誘活動		
⑦ 男子校への勧誘活動		
⑧ 学校説明会・オープンキャンパスの開催、随時受付		
⑨ 高校が行う進路説明会等への参加		
⑩ 業者が行う合同進学説明会等への参加		
⑪ 学費の減額制度		
⑫ 奨学金制度のある病院とのタイアップ		
⑬ 学校独自の奨学金制度		
⑭ 東京都看護師等修学資金等の積極的案内		
⑮ 専門実践教育訓練指定講座としての認定		
⑯ 外国人学生の積極的な受入れ		
⑰ 校舎整備(改築、改修等)		
⑱ 学生寮の整備・学生用住宅の確保		
⑲ その他(具体的に:)		

→問22-1へ

問22-3へ

問 22-1 問 22 で⑩の「学費の減額」を行っている場合、行っている免除の種類に○をつけてください。

また、対象学生の主たる要件の該当するものに○をつけ、減免した人数を記入してください。

免除の種類	行っているもの	対象学生	減免人数
入学料免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業全額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料半額免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
授業料の一部を免除		低所得・成績優秀・その他の要件	人
その他(具体的に:)		低所得・成績優秀・その他の要件	人

問 22-2 令和2年4月1日から始まる「高等教育の就学支援制度」を導入し、入学金及び授業料の減免を実施する予定はありますか。

- ① ある
- ② ない

回答

問 22-3 問 22 で⑫、⑬、⑭、⑮を行っている場合、行っている(案内している)奨学金に○をつけてください。

また、令和元年度の利用人数と入学前に予約している利用人数を内数で記入してください。

(2種類以上利用している場合、それぞれに計上してください。)

修学資金等の種類	実施又は案内	人数	うち入学前予約人数
① 東京都看護師等修学資金第一種貸与 (一口21,000円～83,000円のもの)			
② 東京都看護師等修学資金第二種貸与 (一口25,000円のもの)			
③ 都内の病院等に就業することで返還が免除される貸付金(上記①を除く)			()
④ 都外の病院等に就業することで返還が免除される貸付金			()
⑤ 学校独自の奨学金(給付型)			()
⑥ 学校独自の貸付金			()
⑦ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金(給付型)			()
⑧ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第一種(無利息)			()
⑨ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金 第二種(利息有)			()
⑩ 東京都育英資金			()
⑪ 病院とタイアップした奨学金(具体的に:)			()
⑫ 専門実践教育訓練給付制度			()
⑬ その他(具体的に:)			()

退学についてお聞きます

問 23 平成 30 年度の退学者の人数を学年別に記入してください。

()内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位:人)

平成30年度	1年生	2年生	3年生	4年生
退学者数	()	()	()	()

問 24 平成 30 年度の退学者の退学理由別の人数を、学年別に記入してください。

()内には、男子の人数を内数で記入してください。

(単位:人)

	1年生	2年生	3年生	4年生
学力・成績	()	()	()	()
健康	()	()	()	()
進路変更	()	()	()	()
経済的	()	()	()	()
その他	()	()	()	()
計	()	()	()	()

※学年別の計は、問23の学年別の内訳と一致します。

国家試験等の対策についてお聞きします

問 25 平成 30 年度の国家試験及び准看資格試験の受験者数と合格者数を記入してください。

(単位：人)

平成30年度	保健師	助産師	看護師	准看護師
受験者数	()	()	()	()
合格者数	()	()	()	()

※()内には、既卒者の受験者数・合格者数を把握している場合、記載してください。

問 26 国家試験等合格に効果をあげている対策があれば、その内容を記入してください。

問 27 不合格者に対する対応は、どのようにしていますか。

就職支援についてお聞きします

問 28 就職支援体制について、実施しているものに全て○をつけてください。

就職支援体制	実施している
① キャリア教育	
② 就職資料室の整備	
③ 専任就職相談員の配置	
④ 兼任就職相談員の配置	
⑤ 学校で就職説明会を実施	
⑥ 先輩の体験を聞く会を実施	
⑦ インターシップの案内と参加推奨	
⑧ ナースバンク(東京都ナースプラザ)の出張説明会	
⑨ その他(具体的に:)	

問 28-1 問 28 の⑤の就職説明会を実施している場合、開催時期等についてお答えください。
また、参加施設の種類について該当するものに○をつけてください。

開催時期	対象学年	参加施設
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関
		都内病院・都外病院・診療所・訪問看護ステーション・高齢者施設・社会福祉施設・行政機関

問 29 学生が希望する就職先として希望がある施設に丸を付け、人気のある施設を3つ選び、順位をつけてください。

施設の種類	希望があるもの	人気のあるもの (1位～3位まで)
200床以上の病院		
200床未満の病院		
精神科の病院		
診療所		
助産所		
訪問看護ステーション		
介護老人保健施設等高齢者施設		
障害者支援施設		
児童福祉施設		
行政機関(保健所、地域包括支援センター等)		
看護師養成・教育機関		

問 30 学生が就職先を決めるに当たり、重点をおいているものは何ですか。重点をおいていると思うものを3つ選んでください。

- ① やりたい看護ができる(看護観)
- ② 興味のある分野(救急、小児、精神、在宅など)・施設
- ③ 新人研修等の教育体制が整っている
- ④ 勤務条件(給与・福利厚生・休暇制度など)がよい
- ⑤ ライフステージに合わせた多様な勤務形態がある
- ⑥ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援がある
- ⑦ 今の住居から通勤できる・通勤しやすい
- ⑧ 先輩や知人が就職している
- ⑨ 在籍する学校・養成所の関連病院・施設である
- ⑩ 実習した病院・施設である
- ⑪ 借りている貸付金の返還免除対象施設である
- ⑫ 家族の賛成がある

回答		

卒業後の進路についてお聞きします

問 31 平成 30 年度の卒業生の人数を、進路別に記入してください。

(単位：人)

	看護系									その他				合計	
	就職者			進学者						看護系以外					
	都内	都外	計	大学院	大学		短大	養成所		計	就職	進学	不明		計
					保健師	助産師		助産師	看(2)						
平成 30年度															

※「看(2)」とは、看護師2年課程です。

問 32 平成 30 年度卒業生のうち、看護職員として就職した者の内訳を、施設種別、都内・都外別に記入してください。

(単位:人)

	病院		診療所	訪問看護	助産所	介護老健施設	高齢者施設(老健以外)	社会福祉施設(児童福祉施設・障害者施設等)	保健所 市町村 その他 行政施設	その他	計
	(内数)										
	200床未満	精神									
都内											
都外											

※計は、問 31 の平成 30 年度の就職者の都内計、都外計の数と一致します。

※「精神」の欄には、精神病床数が 80%以上を占める病院に就職した人数を記入してください。

※「200 床未満」であり、「精神」に該当する病院に就職した者は、「200 床未満」の欄にのみ記入してください。

問 32-1 問 32 で都外に就職した学生について、わかる範囲で都外就職となった理由別に人数ご記入ください。

(単位:人)

都外就職となった理由	人数
① 本人の住居が都外でその住居からの通勤が便利だから	
② 卒業後、本人が実家(都外)又はその近くにもどる予定だったため(そこから通える施設を選択)	
③ 実習施設(都外)だったから	
④ 在学中に都外にある施設から修学の支援を受けていたから	
⑤ 在学中にその施設がある他県の奨学金(従事による返還免除あり)を借り受けていたから	
⑥ ①～⑤以外の理由(その他の条件が合致)	
⑦ 不明	

問 33 平成 30 年度卒業生のうち、看護職員として就職した者の内訳を、附属施設、関連施設(附属ではないが、関係する施設)、実習施設(附属施設・関連施設以外の実習施設)別に記入してください。

(単位:人)

	病院	診療所	訪問看護	助産所	介護老健施設	高齢者施設(老健以外)	社会福祉施設(児童福祉施設・障害者施設等)	保健所 市町村 その他 行政施設	その他	計
附属施設										
(内数) 都外施設										
関連施設										
(内数) 都外施設										
実習施設										
(内数) 都外施設										

問 34 卒業生の現在の就業動向等を把握するため、何らかの方策を実施していますか。
 (結果として、把握できていなくても構いません。)

- ① 実施している (→問34～問34-2へ)
- ② ない (→問35へ)

回答

【問 34 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 34-1 どのような方法で就業動向等の把握に努めていますか。当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

	当てはまるもの すべてに○
① 同窓会誌などに連絡用のはがき等を同封し、回収している	
② 就業動向等を把握するための調査を実施している	
③ 転居・転職などの際は、知らせる仕組みになっている(ホームページ登録、ファクシミリ等)	
④ その他(具体的に: _____)	

【問 14 で「① 実施している」を選択した場合にお答えください。】

問 34-2 就業動向を把握する期間としては、卒後、何年程度を目安に行っていますか。

- ① 1年間
- ② 3年程度
- ③ 5年程度
- ④ 10年程度
- ⑤ それ以上

回答

問 35 卒業生の離職防止・定着支援を行っていますか。

- ① 行っている (→問35-1へ)
- ② 行っていない (→問36へ)

回答

【問 35 で「① 行っている」を選択した場合にお答えください。】

問 35-1 どのような支援を行っていますか。自由にご記入ください。

(例:ホームカミングデーの開催、Web上で相談窓口や掲示板を開設 等)

実習施設についてお聞きします

問 36 実習施設の所在地が学校所在地と同区市内か等について当てはまる番号欄に○をつけてください。

施設の場所が複数ある場合は、当てはまる全ての番号に○をつけてください。

実習施設の種類	①学校所在地と同じ区・市内	②学校所在地の近隣区・市内	③都内(①②以外)	④都外
病院				
助産所				
訪問看護ステーション				
保育所等				
高齢者施設等				
障害者支援施設等				
地域包括支援センター				
その他				

問 37 実習施設に支払っている謝金について施設の種類ごとに平均単価をご記入ください。
また、年間定額で支払っている場合は定額の欄にご記入ください。

実習施設の種類	施設使用料(1日につき)	学生指導料(一人につき)	その他費用	定額(1年間)
病院	円	円	円	円
助産所	円	円	円	円
訪問看護ステーション	円	円	円	円
保育所等	円	円	円	円
高齢者施設等	円	円	円	円
障害者支援施設等	円	円	円	円
地域包括支援センター	円	円	円	円
その他	円	円	円	円

問 38 実習施設の確保等の状況で当てはまるものすべてについて回答欄に○を付けてください。

	当てはまるものすべてに○
① 特に問題はない	
② 実習施設が不足している	
③ 実習施設の受け入れ条件(時期、制約)が厳しい	
④ 実習受け入れ人数の制限が厳しい	
⑤ 実習先の看護師スタッフが不足している	
⑥ 実習生の受け持ち患者が不足している	
⑦ 実習施設に係る看護教員が不足している	
⑧ その他(具体的:)	

IV その他について

問 39 平成 27 年 10 月から、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、看護師等免許保持者は、

看護業務から離職した場合に住所、氏名等をナースセンターに届け出ることに なっています。
教員になる場合にも届け出が必要ですがこのことを教員に周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問 39-1 将来、離職した場合の手続きとして学生には周知していますか。

- ① 周知している
- ② 周知していない

回答

問 39-2 問 39 及び問 39-1 で周知していないを選択された場合、その理由をお答えください。

--

最後にご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

--

以上で調査は終了です。
御協力いただき誠にありがとうございました。

※調査内容に齟齬等がある場合にお問合せさせていただくことがありますので、
差し支えなければご連絡先をご記入ください。

【ご担当者】 所属部署:

氏 名:

連 絡 先:

東京都看護人材実態調査（看護学生編）

調査票記入に当たってのお願い

■本調査は、都内の看護職員及び看護補助者の地域別、施設種別、職種別の就業実態と看護教育に対するニーズを把握し、2025年に向けた東京都の看護施策を検討する上での重要な資料となります。本調査の趣旨をご理解頂き、是非ともご協力をお願いします。

■記入に当たっては、各質問の注意書き等を踏まえて、記入してください。

■記入方法等でご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査委託会社】株式会社アストジェイ（担当者：向江 白石）

電話番号：03-6262-9713

ファクシミリ番号：03-6262-9712

電子メールアドレス：info_kango@astweb.co.jp

■ご記入いただいた調査票は、調査専用の返信用封筒に入れて、**令和2年1月17日(金曜日)**までに投函してください。（切手は不要です。）

■本調査のデータ及び結果については、東京都の看護人材確保対策以外に使用することはありません。調査票の情報管理は厳重に取り扱い、個人が特定されることはありません。ただし、統計的な取りまとめ結果については、公表することがあります。

○本調査は、看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）及び看護補助者に関するものです。

○特に指定のない項目は令和元年12月1日現在で記入してください

○選択回答については、当てはまる数字を回答欄へ記入してください。

○質問の前に特段の断りがない場合は、すべての施設が回答の対象です。

調査実施機関： 東京都福祉保健局医療政策部医療人材課

問6 あなたが在籍している教育機関又は養成施設の養成課程は、次のうちどれですか。

- ① 保健師・助産師・看護師コース（大学・大学校）
- ② 保健師コース（大学院）
- ③ 助産師コース（大学院）
- ④ 助産師コース（大学専攻科）
- ⑤ 助産師コース（昼1年）
- ⑥ 助産師コース（定時制昼2年）
- ⑦ 保健師・看護師コース（統合カリキュラム）
- ⑧ 看護師コース（3年課程）
- ⑨ 看護師コース（2年課程全日制）
- ⑩ 看護師コース（2年課程・定時制昼3年）
- ⑪ 看護師コース（2年課程・定時制夜3年）
- ⑫ 看護師コース（2年課程・通信制）
- ⑬ 准看護師コース（昼2年）
- ⑭ 准看護師コース（昼3年）

回 答

「修学等」についてお聞きします。

問7 あなたが看護職を目指した時期はいつ頃ですか。当てはまるものを選択してください。

- ① 小学生
- ② 中学生
- ③ 高校1年生
- ④ 高校2年生
- ⑤ 高校3年生
- ⑥ 社会人となってから
- ⑦ その他（具体的に： _____)

回 答

問7-1 看護職を目指した理由は何ですか。上位2つまでを選択してください。

- ① 人の役に立つ仕事で、やりがいがあったから
- ② 就職先に困らないと思ったから
- ③ 結婚、出産をしても働き続けられる（再就職できる）と思ったから
- ④ 自分や身近な人の病気や入院をきっかけに関心を持ったから
- ⑤ 身近に看護職として働いている人がいたから
- ⑥ 手に職をつけたかったから
- ⑦ 経済的に安定すると思ったから
- ⑧ 一日看護体験学習に参加して、関心を持ったから
- ⑨ その他（具体的に： _____)

回 答	
第1順位	
第2順位	

問8 現在、修学資金等の貸付金を借りていますか。

- ① 借りている (→問8-1へ)
 ② 借りていない (→問9へ)

回答

【問8で「① 借りている」を選択した場合にお答えください。】

問8-1 あなたが借りている修学資金等の貸付金と、もともと希望していた金額を月額で記入してください。

複数の貸付金を借りている場合は、合算した金額を記入してください。

	(記入例)	5	0	0	0	0	円
回答	実際に借りている貸付金額(月額)						円
	希望していた貸付金額(月額)						円

問8-2 次の修学資金等の貸付金のうち、あなたが借りているものすべてに○を付け、その修学資金等を選んだ理由を下の【理由】からすべて選択してください。

修学資金等の貸付金の種類	回答	理由
① 東京都看護師等修学資金第一種貸与(一口21,000円~83,000円のもの)		
② 東京都看護師等修学資金第二種貸与(一口25,000円のもの)		
③ 都内の病院等に就業することで返還が免除される貸付金(上記①を除く)		
④ 都外の病院等に就業することで返還が免除される貸付金		
⑤ 在籍している学校の貸付金		
⑥ 自治体の貸付金(上記①・②を除く)		
⑦ 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金		
⑧ 日本政策金融公庫の「国の教育ローン」		
⑨ 東京都育英資金		
⑩ 上記①~⑨以外の貸付金(具体的に:)		

【理由】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ① 借りられる金額が、希望金額と一致したから | ⑥ 他の貸与資格がなかったから |
| ② 返還しなくていいから | ⑦ 申し込んだ他の貸付金が借りられなかったから |
| ③ 就業することで返還が免除されるから | ⑧ 入学前に予約申込みができたから |
| ④ 無利息だから | ⑨ 連帯保証人、保証人がいなくても借りられたから |
| ⑤ 利息が低いから | ⑩ その他(具体的に:) |

【問8で「① 借りている」を選択し、問8-2で③～⑩の東京都看護師等修学資金を借りていない場合にお答えください。】

問8-3 東京都看護師等修学資金を借りず、他の貸付金を借りているのはなぜですか。

- ① 知らなかったから
- ② 知る前に、他の貸付金を借りることに決めたから
- ③ 知っていたが、他の貸付金を借りることに決めたから (→問8-4へ)

回答

【問8-3の回答で「③知っていたが他の貸付金を借りることに決めたから」を選択した場合にお答えください。】

問8-4 他の貸付金を借りることに決めた理由について、もっとも当てはまるものを一つ選択してください。

- ① 進学前に申し込めない(予約採用制度がない)から
- ② 東京都看護師等修学資金の被貸与資格がなかったから
- ③ 東京都看護師等修学資金より、手続きがしやすそうだったから
- ④ 東京都看護師等修学資金より、返還がしやすそうだったから
- ⑤ 東京都看護師等修学資金の貸与金額が希望に合わなかったから
- ⑥ 東京都看護師等修学資金は、就職先(返還免除対象施設)が限定されると思ったから
- ⑦ 東京都外に就職したいから
- ⑧ その他 (具体的に: _____)

回答

「卒業後の進路」についてお聞きします。

問9 卒業後の進路(就職先や進学先)は決まっていますか。

- ① 決まっている (→問10へ)
- ② 決まっていない (→調査終了です。)

回答

【問9で「① 決まっている」を選択した場合にお答えください。】

問10 卒業後の進路先はどちらですか。

- ① 就職(看護職) (→問10-1～問10-6へ)
- ② 就職(看護職以外) (→問10-8へ)
- ③ 進学(看護系) (→問10-7へ)
- ④ 進学(看護系以外) (→問10-8へ)
- ⑤ その他(具体的に: _____) (→調査終了です。)

回答

【問10で「① 就職（看護職）」を選択した場合、問10-1～10-6まで、お答えください。】

問10-1 就職する施設は次のうちどれですか。当てはまるものを選択してください。

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| ① 病院（200床未満） | ⑧ 介護老人保健施設等高齢者施設 |
| ② 病院（200床以上） | ⑨ 障害者支援施設等 |
| ③ 病院（精神科） | ⑩ 児童福祉施設 |
| ④ 有床診療所 | ⑪ 行政機関（保健所、子供家庭支援センター・地域包括支援センター等） |
| ⑤ 無床診療所 | ⑫ その他（具体的に： |
| ⑥ 助産所 | ） |
| ⑦ 訪問看護ステーション | |

回答

問10-2 就職する施設の所在地はどちらですか。

- ① 都内
② 都外 ⇒ 道府県名（ ）

回答

問10-3 その施設に就職を決めた理由は何ですか。次から上位3つまでを選択してください。

- ① やりたい看護ができるから（施設の看護理念に共感）
 ② 興味のある分野（救急、小児、精神、在宅など）・施設だから
 ③ 新人研修等の教育体制が整っているから）
 ④ 勤務条件（給与・福利厚生・休暇制度など）がよいから
 ⑤ ライフステージに合わせた多様な勤務形態があるから
 ⑥ 専門資格取得等キャリアアップの機会・支援があるから
 ⑦ 今の住居から通勤できる・通勤しやすいから
 ⑧ 卒業後は実家又は実家近くにもどるため、そこからの通勤しやすいから
 ⑨ 先輩や知人が就職しているから
 ⑩ 在籍する学校・養成所の関連病院・施設だから
 ⑪ 実習した病院・施設だから
 ⑫ 修学支援を受けている又は借りている貸付金の返還免除対象施設だから
 ⑬ 家族の賛成、勧めがあったから
 ⑭ その他（具体的に：

回答	
第1順位	
第2順位	
第3順位	

問 10-4 就職する施設を決める際に利用したものはどれですか。当てはまるもの全てを選択し、最も役立ったもの一つに○をつけてください。

就職先を決める際に利用したもの	利用したもの (すべて)	役立ったもの (一つ)
① 学校で開催された就職説明会		
② 学校の就職担当者への相談		
③ 施設でのインターンシップ、見学会、説明会		
④ ナースバンク(東京都ナースプラザ)		
⑤ 合同就職説明会		
⑥ ホームページ、SNSによる情報収集		
⑦ 募集広告雑誌		
⑧ 教員への相談		
⑨ 先輩への訪問、相談		
⑩ 家族への相談		
⑪ その他(具体的に)		

問 10-5 就職するにあたり、不安に思っていることは何ですか。次から上位2つまでを選択してください。

- ① 看護に関する知識・技術
- ② 現場で求められる業務を実践できるか
- ③ 周囲のスピードについていけるか
- ④ 生命の重さ、医療事故等への不安
- ⑤ 患者、家族への対応
- ⑥ 看護職の先輩職員(プリセプター等)との関係
- ⑦ 医師等、関係職員との関係
- ⑧ 夜勤等の変則的な勤務
- ⑨ 家庭との両立
- ⑩ 学業との両立
- ⑪ その他(具体的に :)

回答	
第1順位	
第2順位	

問 10-6 看護職としての今後の働き方で、自分の考えに最も近いものを1つ選択してください。

- ① 1つの職場（法人内・グループ内異動を含む）で長く働きたい
- ② スキルアップできる職場に変わりながら、長く働きたい
- ③ 自分や家族の事情に合わせて、無理なく、働きやすい職場に移りながら働きたい
- ④ 出産・育児等の期間は仕事を辞めて、その後看護職として再就業したい
- ⑤ 訪問看護等、在宅医療の分野で働きたい
- ⑥ 福祉施設の看護職員として働きたい
- ⑦ 専門・認定看護師取得や、特定行為研修を受け、専門性を活かして働きたい
- ⑧ 看護師長や看護部長に昇任して、働きたい
- ⑨ 看護職にこだわらない
- ⑩ 現時点では特に考えていない
- ⑪ その他（具体的に： _____)

回 答

【問 10 で「③ 進学（看護系）」を選択した場合にお答えください。】

問 10-7 進学先の種別について、当てはまる欄に○をつけてください。

	大学院	大学・短大			養成所	
		保健師養成	助産師養成	養護教諭養成	助産師養成	看護師(2年課程)
都内						
都外						

【問 10 で「② 就職（看護職以外）」又は「④ 進学（看護系以外）」を選択した方場合にお答えください。】

問 10-8 看護職（系）以外への就職・進学をする理由は何ですか。もっとも当てはまる理由を選択してください。

- ① 自分には看護職が向かないと思ったから
- ② 他分野に興味をもったから
- ③ 勤務条件が合わなかったから
- ④ もともと看護知識や技術を身につけ、資格を取得して別の仕事に活かすことが目的だったから
- ⑤ その他（具体的に： _____)

回 答

以上で調査は終了です。
ご協力いただき誠にありがとうございました。

